

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	1年	全専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	ホスピタリティ I			吉田訓代	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

日本航空客室乗務員での接客経験がある講師が、社会人として必要なビジネスマナー・接客マナーをオンライン講義形式・オンラインロールプレイング形式で実施する。

☐ 授業科目の概要

良い人間関係を築くためのコミュニケーションのポイントに加え、社会人にとって必要なマナーの知識を確認し、それらの学習成果を認定するコミュニケーションマナー検定を受験し、合格する。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	コミュニケーション上手になるために	自分を知る 自分のコミュニケーションスタイルを確認する
2	好感度を高めるためのポイント	表情と笑顔 姿勢 服装や身だしなみ 態度や振る舞い
3	聴き方や話し方を見直す	傾聴のポイント 話し方や言葉遣いに配慮する 上手な気持ちの伝え方
4	食事の席での心得	食事の席で大切なこと 食具の種類と歴史 レストランでのマナー 箸使いについて
5	外出時の心得	公共の場での振る舞い 訪問先でのマナー あらたまった席での振る舞い
6	社会人として知っておくべきこと	日本や日本人について考えてみる 日本社会の特徴 多様性を受け入れる
7	社会人必須のマナー	ビジネスマナーの基本 ビジネス文書の書き方 電話応対 名刺交換 席次のルール
8	祝儀・不祝儀袋の贈り方	祝儀袋・不祝儀袋の用途 水引の種類 表書きの書き方 紙幣の入れ方
9	国際交流とプロトコール	国旗について 異文化コミュニケーションの注意点 世界の宗教
10	人生のイベント季節のイベント	誕生 お七夜 お宮参り お食い初め 七五三 厄年 長寿のお祝い お正月 節分 ひな祭り お花見などの年中行事について
11	検定模擬試験	
12	コミュニケーションマナー検定	今まで学んだことの理解力を試す
13	サービス接客検定対策	サービス接客検定2級過去問演習実施
14	サービス接客検定対策	サービス接客検定2級過去問演習実施
15	サービス接客検定対策	サービス接客検定2級過去問演習実施

☐ 到達目標

社会人になって最も大切なコミュニケーションについて確認し、コミュニケーション検定合格をめざす

☐ 成績評価の方法・基準

検定50% 課題30% 出席状況・授業態度20%

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	1年	全専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	ビジネスコミュニケーション I			国沢好貴		
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

☐ 授業科目の概要

- ・自分自身を理解し、将来像を考えることで、今、そしてこれから取り組むべきことを明確にする。
その内容に沿ったかたちで講義を進めて、対外コミュニケーションスキルを上げ、後期の業界EXPO、本格的な就職活動につなげる。
- ・「過去の自分」をもとにした「自己PR」を完成させる。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	オリエン、自己紹介	半期の流れの説明及び、学生の自己紹介を行う。
2	学校を知る・学科を知る	学校の特長や学科の各授業が、どういう資格につながり、卒業後、どうなっていくための授業なのか、2年間、もしくは3年間の学びについて紹介する。
3	コミュニケーションゲーム (他人から見た自分)	クラスメイトから見た自分と、自身が思っている自分のイメージの違いを認識し、これから行う自己PR（長所）の作成に役立てる。「You are シート」を作成し、他己紹介を行い、スピーチトレーニングの要素を含める。
4	自己理解	マイカンパニーの概要に触れてから冊子のP.7～P.13の個人ワークを行う。その後、ペアになりお互いのことを発表。「話して気づいたこと」「聞いて心が動いたこと」をP.14のシートに記入。その内容も踏まえつつ、個人ワークで「自分史シート」「I am シート」を作成し、自身の強みを知り、なぜそれが身に付いたかをさらに掘り下げて考える。
5	キャリアプランニング	「将来デザインシート」「目標設定シート」を作成し、自身のざっくりとした将来像を考え、そのために必要なもの、今からできることを考える。そこで出てくることが想定されるものが、第5回以降の授業で学ぶ内容とリンクしていく。
6	対外コミュニケーション①	対外コミュニケーションで必要となることを、例を挙げて解説。ロールプレイングを含めても良い。（例：「会社説明会に参加する」⇒入口でコートは脱ぐ、説明会の聞き方、メモは、質問は、終了後は、など）
7	対外コミュニケーション②	対外コミュニケーションで必要となる、採用担当者への文章の書き方やメール作成の仕方を考える。
8	<自己分析①> 自己PRにつなげる	前回までに取り組んだことを活かして、「学生生活で頑張ったこと」「長所・短所」を考える。
9	<自己分析②> 自己PRを作成する	前回までに取り組んだことを活かして、「自己PR」を完成させる。
10	<自己分析③> 人の自己PRを聞いてみるⅠ	前回までに作成した「自己PR」「学生生活で頑張ったこと」「長所・短所」等を、数名のグループを作って一人ずつ発表する。人からの意見を聞くことで新たな気づきがあったり、参考にできる部分は参考にする。また、発言を聞いている人は、発言者に必ず質問する。（そのため話をしっかり聞き、メモを取る。）
11	<自己分析④> 人の自己PRを聞いてみるⅡ	前回までに作成した「自己PR」「学生生活で頑張ったこと」「長所・短所」等を、数名のグループを作って一人ずつ発表する。人からの意見を聞くことで新たな気づきがあったり、参考にできる部分は参考にする。また、発言を聞いている人は、発言者に必ず質問する。（そのため話をしっかり聞き、メモを取る。）
12	質問力を高める	他学科・他部署の先生が時間を区切り、あるテーマで話をする。学生はチームで質問を考え、代表者が挙手の上、質問をしていく。学生は、質問をするためしっかり話を聞き、メモを取って臨む。（人と話を交えて、複数講師も可。）
13	業界研究「職業・職種を知る」	自身が目指す（興味のある）業界・職種（人によっては具体的な企業）について調査し、各自でまとめて発表する。
14	身だしなみ講座&就職情報サイト登録	これから本格的に就職活動を行う上で必要となる「身だしなみ」について学ぶ。（挨拶や表情についても触れる）さらにマイナビ、リクナビ等の就職情報サイトの登録を行い、後期に向けて活動がスムーズに進められるようにする。
15	前期試験	昨年度の業界EXPO参加票をそのまま使って、自己PR欄を完成させる。いよいよ後期には業界EXPOがある＝（就職活動が本格的に始まる）ことの動機付けにする。

☐ 到達目標

- ・「過去の自分」をもとにした「自己PR」は完成させる。
- ・就職活動の準備段階で必要となる対外コミュニケーションスキルを身に付ける。

☐ 成績評価の方法・基準

- ・業界EXPO参加票の最後の行まで記入できていれば100点。
- そこから、出欠状況、授業に取り組む姿勢等を考慮し、学科判断で減点する。

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	1年	全専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	ナースブリッジカリキュラム①			大海麻美	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

愛玩動物看護師として20年臨床の最前線で実習生を受け入れていた経験をもとに、実習時に必要な手技を伝授する。

☐ 授業科目の概要

愛玩動物看護師として今後学習していくにあたり、心得、コミュニケーション力、観察力、想像力を付け看護師としての総合基礎力を付けていく

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	グループワーク	自己紹介
2	グループワーク	コミュニケーションゲーム
3	グループワーク	コミュニケーションゲーム
4	グループワーク	コミュニケーションゲーム
5	グループワーク	コミュニケーションゲーム
6	グループワーク	FWの振り返り
7	グループワーク	愛玩動物看護師として必要な事はなにか。
8	グループワーク	前回の続き。必要な事であれば、それはなぜなのか。どのように行動すべきかを考察、発表
9	グループワーク	グループ内で初対面の印象と現在の印象、新たに知ったところを伝えあう（観察力）
10	グループワーク	テーマ「本格的に愛玩動物看護師の勉強を始めて、今現在の自分のなりたい愛玩動物看護師のビジョンは？」
11	グループワーク	期末課題発表のテーマを決める
12	グループワーク	発表に向けての考察、情報収集、まとめなど
13	グループワーク	発表に向けての考察、情報収集、まとめなど
14	期末考査	期末課題発表（グループ発表）
15	期末考査	期末課題発表（グループ発表）

☐ 到達目標

コミュニケーションの大切さ、伝える力、傾聴力を身につける。

☐ 成績評価の方法・基準

期末考査：グループ発表100%

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	1年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		動物形態機能学Ⅰ-①		井上健司		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		講義・演習		2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

獣医師及び病院責任者を務める講師より、国家資格試験合格に向け、高出題箇所を中心に講義を実施する

☐ 授業科目の概要

動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに、病的変化について学が基礎を確立する。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	第1章生命のすがた	体を形づくる基本物質、細胞のしくみと働き、器官の成り立ちと維持、調節システム
2	第1章生命のすがた	遺伝情報
3	第1章生命のすがた	上皮組織、腺組織、器官の成り立ちと維持、調節システム
4	第1章生命のすがた	支持組織、筋組織、神経組織、器官の成り立ちと維持、調節システム
5	第1章生命のすがた	予備
6	第2章血液と造血器	血球成分と血漿成分、赤血球の構造と機能
7	中間テスト	
8	第2章血液と造血器	白血球の構造と機能、血小板機能と血液凝固機序および線維素溶解
9	第3章血液循環とその調整	循環器系の概要、心臓のしくみ、心筋の性質
10	第3章血液循環とその調整	心筋の自動性と興奮の伝わり、心臓の周期、心電図
11	第3章血液循環とその調整	心臓機能の調節、血管のしくみと働き、血液循環の調節
12	第3章血液循環とその調整	毛細血管を横切る物質の移動、リンパ系のしくみ、脾臓の仕組み
13	第3章血液循環とその調整	予備
14	期末テスト	第2章と第3章から出題
15	第4章生体の防御機能	生体を守る防御機構、自然免疫、獲得免疫

☐ 到達目標

細胞、DNA、各組織、器官の説明ができるようになる
血液・心臓・血管・リンパ・脾臓の構造が説明ができるようになる

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト＋期末考査で正答率60%以上で合格
ウェイト：中間：期末＝30%:70%で算出

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	1年	全専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	動物形態機能学Ⅱ-①			堀内香		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師は20年以上獣医師として動物病院で勤務する傍ら、日本獣医中医薬学院の設立、学生育成の実績を踏まえ、有資格者また獣医師の目線から動物看護師に必要なことまた、国家資格試験合格のために講義を行う。

☐ 授業科目の概要

動画配信で講義を実施し、中間試験1回、期末試験1回を実施。

教科書内の練習問題はもちろん愛玩動物看護師国家試験の過去問を多数解説します。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	第7章 からだの支持と運動	体の位置・方向を示す用語と表面解剖学的区分
2	第7章 からだの支持と運動	骨格
3	第7章 からだの支持と運動	骨格筋
4	第8章 からだの支持と運動	骨格筋
5	第8章 外皮系と体温調節	外皮・皮膚の付属器官・皮膚による体温調節機構
6	第7章と第8章	第1回から5回のふりかえり
7	中間試験・第8章 ふりかえり	呼吸器の構造
8	第9章 呼吸とその調節	呼吸器の構造
9	第9章 呼吸とその調節	呼吸器の構造
10	第9章 呼吸とその調節	呼吸器の構造
11	第9章 呼吸とその調節	呼吸器の構造
12	第9章 呼吸とその調節	呼吸
13	第9章 呼吸とその調節	第7回から12回のふりかえり
14	定期試験	
15	ふりかえり	試験のふりかえり

☐ 到達目標

動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに、病的変化について学ぶ基盤を確立する。

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト＋期末考査で正答率60%以上で合格
ウェイト：中間：期末＝30%:70%で算出

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	1年	全専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	生命倫理・動物福祉		安部満里菜		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

愛玩動物看護師として株式会社新日本科学では実験動物管理部、薬理研究部で経験を積み、その後動物病院でも勤務経験をもとに国家試験合格、愛玩動物看護師として必須知識を授業を介し学生へ伝えていく。

☐ 授業科目の概要

生命倫理および動物福祉の基本概念を理解し動物を取り巻く多様な立場や価値観について考察する力を養う。愛玩動物、産業動物、実験動物、展示動物それぞれの福祉の現状と課題を学び、動物に関わる専門職として倫理的に判断し行動できる基礎を身につけることを目的とする。

動物医療従事者として求められる責任と社会的役割を理解し、科学的知識と倫理的視点の両面から動物福祉を実践できる態度を育成する。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	生命倫理の概念	倫理の考え方 ディベート「高額な治療でも、命を救える可能性があるなら行うべきである。賛成か・反対か」
2	様々な動物観	動物観の違い ディベート「犬を食べることに賛成か・反対か」
3	動物福祉の概念	動物福祉動物福祉の考え方・アニマルライツと動物愛護 ディベート「動物を利用することに賛成か・反対か」
4	動物福祉の概念/動物福祉の評価	安楽死・ストレス反応・行動評価 ディベート「飼い主の負担が大きいつき動物を安楽死することに賛成か、反対か」
5	動物福祉と社会	動物に関する法制度 ディベート「肉や乳製品の値段を倍にして動物福祉を向上することに賛成か、反対か」
6	発表	1～5回までの内容でグループごとに発表
7	中間テスト/レポート	中間テストおよびレポート「動物看護師は誰の利益を最も優先すべきか」
8	愛玩動物の福祉	愛玩動物の現状と福祉 ディベート「飼えなくなった場合に安楽死を選択することに賛成か・反対か」
9	産業動物の福祉	産業動物の現状と福祉・今後の課題 ディベート「産業動物の福祉にさらなる配慮を義務化することに賛成か・反対か」
10	実験動物の福祉	実験動物の現状と福祉・今後の課題 ディベート「動物実験に賛成か・反対か」
11	展示/使役動物の福祉	展示動物の現状と福祉・今後の課題 ディベート「動物園は教育・研究機関としての役割を優先することに賛成か・反対か」
12	野生動物の福祉	野生動物の現状と福祉・今後の課題 ディベート「人間社会に被害を与える野生動物の駆除に賛成か・反対か」
13	発表	8～12回までの内容でグループごとに発表
14	期末テスト/レポート	期末テストおよびレポート「飼い主の希望と動物の利益が対立したら、どちらを優先すべきか」
15	期末テスト振り返り	期末テスト振り返り

☐ 到達目標

生命倫理および動物福祉の基礎を理解し、動物看護師として倫理的に判断する力を身につける。

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト/レポート20% 期末テスト/レポート40%
提出物10% 発表30%

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	1年	全専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	動物看護学概論			金田千佳	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

愛玩動物看護師として現在も臨床の最前線で経験している知識また、国家資格試験を熟知した講師が講義を実施する。

☐ 授業科目の概要

なぜ動物医療が誕生したのか、なぜ愛玩動物看護師が誕生したのか、歴史を知り、愛玩動物看護師を目指す意味を探す。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	獣医療の歴史と概念	獣医療の歴史・獣医療倫理
2	獣医療の歴史と概念	動物看護の歴史と概念・国際的な動物看護師の業務や資格制度の違い
3	獣医療における動物看護学の理論と特徴	動物看護理論の成立過程・動物看護学の成立・動物看護学と高等教育
4	国家資格愛玩動物看護師誕生への道のり	認定動物看護師の誕生
5	国家資格愛玩動物看護師誕生への道のり	動物看護学カリキュラムの構築と愛玩動物看護師の誕生
6	国家資格愛玩動物看護師誕生への道のり	愛玩動物看護師の職能団体
7	中間テスト	
8	中間テスト返し	
9	動物看護の役割と概念	動物看護とは
10	動物看護の役割と概念	動物看護における倫理
11	動物看護の役割と概念	動物にとっての福祉・健康・QOL・看護動物に影響を与える環境要因
12	動物看護の役割と概念	動物病院における動物看護師の役割・動物看護の探求
13	期末テスト対策	
14	期末テスト	
15	期末テスト返却	

☐ 到達目標

国家資格になった歴史を学び、これから3年間学ぶことを意味のあるものにする。

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト＋期末考査で正答率60%以上で合格
ウェイト：中間：期末＝30%：70%で算出

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	1年	全専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	公衆衛生学Ⅰ		樋口 智香		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

約10年近く動物病院で獣医師として第一線で活躍されていた講師より、国試合格に向けての授業を実施することはもちろん

臨床現場での経験をもとに、看護師の心構え、獣医師としての看護師に対する思いなどを授業の際に織り交ぜながら講義を実施。

☐ 授業科目の概要

対面講義型授業にて、公衆衛生の意義を理解し、疫学や疾病予防、人獣共通感染症について学ぶ。

授業の最後に授業内容の確認問題を解き、知識の定着を図る。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	愛玩動物看護師と公衆衛生	公衆衛生の目的・獣医師と愛玩動物看護師の役割
2	愛玩動物看護師と公衆衛生	国民衛生の動向・薬剤耐性菌
3	疫学と疾病予防	感染について・感染症対策・バイオハザード
4	疫学と疾病予防	疫学について・スクリーニング・サーベイランス
5	人獣共通感染症	人獣共通感染症の概要/感染症の分類/新興感染症と再興感染症
6	復習	1～5週までの振り返り
7	中間テスト	1～6週の範囲のテスト
8	中間テスト解説・人獣共通感染症	中間テストの解説・狂犬病について
9	人獣共通感染症	ウイルス性人獣共通感染症
10	人獣共通感染症	細菌性人獣共通感染症
11	人獣共通感染症	真菌性人獣共通感染症・寄生虫性人獣共通感染症・その他の人獣共通感染症
12	人獣共通感染症	人獣共通感染症に関連する法律・総まとめ
13	復習	1～12週の振り返り（8～12週中心）
14	期末テスト	1～13週の範囲のテスト
15	期末テスト解説	期末テスト振り返り

☐ 到達目標

公衆衛生の意義を理解し、疫学や疾病予防および

人獣共通感染症についての国家試験に対応した知識を身に着ける

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト＋期末考査で正答率60%以上で合格

ウェイト：中間：期末＝30%:70%で算出

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	1年	全専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	動物内科看護学Ⅰ		樽田侑		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師は現在清州動物病院副院長として臨床現場の最前線で得た知識・技術と国家資格試験経験から看護師として臨床で必要な項目また、国家試験合格のために習得必須箇所をクローズアップした授業を行う。

☐ 授業科目の概要

動物内科診療で必須となる知識(動物の一般的特徴,検査,投薬法など)・技術(保定,採血など)を深め、現場で活かせるかつ国家試験合格へ向けた学習をする

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	第1回	入院動物の日常管理 教科書第7巻P4
2	第2回	衛生管理・安全管理と環境整備 教科書第7巻P15
3	第3回	診察室の準備と衛生管理、動物種ごとの適切な接し方、動物の保定法、全身状態の確認
4	第4回	動物の保定法、バイタルサイン、聴診法
5	第5回	動物の生活を援助するための技術 教科書第7巻P69
6	第6回	注射器の取り扱い管理法、採尿の目的と方法、穿刺と吸引
7	中間テスト	第1回～第6回の最重要箇所での中間テスト実施
8		中間テスト解説
9	第9回	マイクロチップの装着、薬の処方、経口投与薬の使用法、外用薬の使用法、薬浴の実施法
10	第10回	第6章 検査・処置の介助に必要な技術
11	第11回	採血・注射時の保定法、静脈採血、動脈採血 第5章P67
12	第12回	薬物など注射、留置針の留置、そのほかの投与方法 第7章P157
13	第13回	動物へのアプローチ、行動評価、排泄 第3章P37
14		期末テスト
15		期末考査解説

☐ 到達目標

動物内科看護学の目的意識を高め、基礎を身につける

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト+期末考査で正答率60%以上で合格

ウェイト：中間：期末＝30%:70%で算出

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	1年	全専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	動物医療コミュニケーション			大海麻美	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

愛玩動物看護師として臨床経験の豊富な講師により、検査の手技を実習中心で伝授する。

また、国家資格試験（実地問題）にも対応できるようにする

☐ 授業科目の概要

講義、グループワーク、ロールプレイを組み合わせる。実際の動物病院を想定したケーススタディを取り入れる。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	オリエンテーション／動物医療におけるコミュニケーションの役割	職業倫理・動物看護師の立場
2	コミュニケーションの基礎	言語・非言語コミュニケーション
3	傾聴の技術と共感	受容・共感・基本的態度
4	飼い主との信頼関係構築	ラポール形成・第一印象
5	わかりやすい説明技術	専門用語の言い換え・伝達方法
6	医療面接の基礎	問診の流れ・情報収集
7	中間考査	筆記試験（基礎知識・状況判断問題）ロールプレイ試験（基礎対応）
8	中間解説	ロールプレイ試験（基礎対応）＋中間解説（受付対応・初期対応）
9	クレーム対応とトラブル回避	不満・怒りへの対応
10	インフォームドコンセント	説明責任・同意形成
11	チーム医療におけるコミュニケーション	報告・連絡・相談
12	接遇マナーとホスピタリティ	言葉遣い・態度・身だしなみ
13	総合演習（ケーススタディ）	応用ロールプレイ・状況対応
14	期末考査	ロールプレイ試験（応用）（説明・クレーム・連携）
15		ロールプレイ試験（応用）＋総括（振り返り・フィードバック）

☐ 到達目標

動物医療におけるコミュニケーションの重要性を説明できる。飼い主対応の基本（傾聴・共感・説明）を理解し実践できる

医療面接の基本的な流れを理解できる。チーム医療における適切な情報共有ができる

☐ 成績評価の方法・基準

中間30％ 期末70％（ロールプレイ形式）

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	1年	全専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	動物形態機能学実習			大海麻美	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	実験・実習・実技			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

愛玩動物看護師として臨床経験の豊富な講師により、検査の手技を実習中心で伝授する。

また、国家資格試験（実地問題）にも対応できるようにする

☐ 授業科目の概要

本実習では、動物の体の構造（形態）と機能の基礎を理解することを目的とする。骨格、筋肉、内臓の配置などのマクロな構造から学び、その後、顕微鏡を用いた組織レベル（ミクロ）の観察へと発展させる。

エドワードプレス「動物看護実習テキスト第3版」に準拠し、実習を通して視覚的・体感的に理解することで、形態機能学（座学）への接続を図る。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	ガイダンス	授業概要、評価方法、実習時の注意事項、安全管理
2	体の部位名称・方向用語	頭部・体幹・四肢の区分、頭側・尾側・背側・腹側など
3	全身の骨格像	骨格標本を用いた全体構造の把握（頭部・体幹・四肢）
4	内臓の配置	胸腔・腹腔の区分、主要臓器の位置関係
5	骨格系①	長骨・短骨・扁平骨の特徴、骨の基本構造
6	骨格系②	頭骨、脊柱、四肢骨の名称と位置
7	中間考査	中間考査
8	解説/関節および筋肉の構造	解説/関節の種類、骨格筋の基本構造と働き
9	運動器の総理解	骨・関節・筋の運動、運動との関連
10	内臓の形態	消化器・呼吸器・循環器の構造と位置関係の整理
11	顕微鏡操作	顕微鏡の各部名称、操作方法、標本の観察方法
12	主要臓器の組織像①	肝臓・腎臓・小腸・肺などの組織構造の特徴理解
13	主要臓器の組織像②	組織像の比較・識別演習
14	期末考査	期末考査
15	期末考査解説	期末考査解説

☐ 到達目標

動物の体の構造（骨格・内臓・組織）の基礎を理解する。

顕微鏡操作を習得し、主要臓器の組織像を識別できる。

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト＋期末考査で正答率60%以上で合格

ウェイト：中間：期末＝30%:70%で算出

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	1年	全専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	動物内科看護学実習Ⅰ			望月章史	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	実験・実習・実技			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

動物看護師として25年以上のキャリアがあり、現在はVCAjapan合同会社王禅寺ペットクリニック看護部マネージャーとして活躍されている講師より、動物看護の手技だけでなく、心構えや臨床での事例などを織り交ぜて、国試合格を目指し授業を実施

☐ 授業科目の概要

小動物臨床の現場で必要な「診察補助と身体検査」「注射器の取り扱い」「動物看護技術の実践と応用」についての知識と技術を身に付けられるように、座学と実習形式で授業を行う。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	オリエンテーション	自身の自己紹介・学生の自己紹介・後期授業のプラン説明
2	第1節 診察補助と身体検査	テキスト第1節 1 犬猫の基本的な保定法についての座学
3	第1節 診察補助と身体検査	テキスト第1節 1 犬猫の基本的な保定法についての座学
4	第5節 動物看護技術の実践と応用	テキスト第5節 1 採血時の補助 4 耳処置時の補助についての座学・実習
5	第1節 診察補助と身体検査	テキスト第1節 2 身体検査とバイタルサイン評価についての座学
6	第1節 診察補助と身体検査	テキスト第1節 2 身体検査とバイタルサイン評価についての座学・実習
7	中間考査	実習テスト＋筆記テスト
8	中間考査解説	テスト内容の振り返りと解説
9	第1節 診察補助と身体検査	テキスト第1節 2 身体検査とバイタルサイン評価についての座学・実習
10	第4節 注射器の取り扱い	テキスト第4節 1の内容に沿った座学＋実習
11	第4節 注射器の取り扱い	テキスト第4節 1の内容に沿った座学＋実習
12	第4節 注射器の取り扱い	テキスト第4節 2の内容に沿った座学＋実習
13	前期授業の振り返り	前期授業内容 全体の振り返り
14	期末考査	筆記テスト
15	期末考査解説	テスト内容の振り返りと解説

☐ 到達目標

内科看護学に必要な知識・技術の習得と国家試験攻略のスキル習得

☐ 成績評価の方法・基準

中間考査（実習＋筆記）30％ 期末考査（筆記）70％

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	1年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		猫学Ⅰ		NBA 澤田由紀		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		講義・演習		2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師は、動物の専門学校を卒業後3年間犬猫が講師として勤務。その後開業し、現在までの30年間生体販売、トリミング、ペットホテルキャットシッターの業務に従事した実績をもとに講義を行う。

授業科目の概要

基本的な“猫”についての知識を身につける

授業の計画

週	項目	授業概要
1	猫とは（歴史・学名）	猫と人との関わり、歴史など
2	猫とは（歴史・学名）	世界の猫の呼び名など
3	猫体名称	体のパーツと名称など
4	体の仕組み	骨格、筋肉、耳、目、鼻
5	体の仕組み	習性など
6	体の仕組み	体の仕組みについて
7	猫用語	発生スタイル、毛色など
8	猫用語	猫種について
9	猫用語	猫種について
10	グルーミング	猫のグルーミングについて
11	猫種①	猫種について
12	猫種①	猫種について
13	後期考査対策	前期まとめ
14	後期考査	
15	リフレクション	後期考査解説

到達目標

猫についての基礎を学ぶ

成績評価の方法・基準

試験100%

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	1年	全専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	愛玩動物飼養管理士Ⅰ			宮崎麗奈		
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

☐ 授業科目の概要

オンデマンド配信による講義形式で授業を行う。愛玩動物飼養管理士として、動物愛護や人と動物の共生などの活動を担う中心的存在として活躍するために、基本的理解を深めるとともに、専門知識への応用理解へつなげる。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	愛玩動物飼養管理士とは	公益社団法人日本愛玩動物協会の目的・事業、愛玩動物管理士 愛玩動物管理士と愛護・適正飼養学、ボランティア活動
2	生命倫理と動物福祉	生命倫理の概念、動物福祉の概念、利用目的により異なる関わり方、愛玩動物の福祉 産業動物、実験動物、展示動物の福祉
3	体の仕組みと働き、繁殖・遺伝	体の基本の仕組み・消化器系、泌尿器系・運動器、皮膚と感覚器 生殖器系の形態機能、犬の繁殖生理、猫の繁殖生理、遺伝学概論
4	動物の行動としつけ1	発達過程と社会行動、学習理論、
5	動物の行動としつけ2	犬のしつけの基本、室内飼育猫のしつけの基本
6	動物愛護・適正飼養関連法規1	動物と法律、愛護適正飼養関連行政法規
7	動物愛護・適正飼養関連法規2	社会福祉行政、環境衛生法規、野生動物等に関する法律および条約
8	愛玩動物学1	動物の管理と飼養管理の関わり合い、歴史と品種、犬猫の飼養管理
9	愛玩動物学2	エキゾチックアニマルの飼養管理
10	愛玩動物学3	栄養と食事、高齢動物
11	人と動物の関係学	人間と動物の関わり、動物と社会問題
12	動物生活環境学1	ペット共生住宅、ペットツーリズム、動物愛護センター
13	動物生活環境学2	訓練、動物介在教育、マナー、リスク対策
14	ペット関連産業	ペット業界、動物取扱制度
15	期末考査	

☐ 到達目標

愛玩動物飼養管理士2級合格

☐ 成績評価の方法・基準

試験100%

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	1年	全専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	適正飼養指導論Ⅰ		亀子美穂		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師はエンゼル動物病院看護師長であり、動物看護師歴9年以上のキャリアと愛玩動物看護師国家資格取得者の経験と実績を踏まえ、動物看護師として必要な項目と国家資格試験合格に向け高出題箇所の講義を行う。

☐ 授業科目の概要

愛玩動物の適正飼養に関する基本的知識を学び、飼い主に対して適切な指導・助言を行うための基礎を身につける。

動物福祉や生活環境、問題行動の予防、関連法規について理解を深める。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	愛玩動物の飼養	人と動物の関係
2	愛玩動物の飼養	愛玩動物の適正飼養の目的と概念
3	愛玩動物の飼養	動物愛護管理法と動物福祉
4	愛玩動物の飼養	愛玩動物飼養による恩恵と問題点
5	愛玩動物の飼養	ペットロス
6	愛玩動物の飼養	グリーフケア
7	中間テスト	第1回～第6回の最重要箇所での中間テスト実施
8	中間テスト解説	中間テスト解説
9	適正飼養の推進	適正飼養の推進
10	適正飼養の推進	動物取扱業者における適正飼養
11	適正飼養の推進	動物取扱業者における飼育管理基準
12	適正飼養の推進	過剰繁殖の問題点と対策
13	適正飼養の推進	問題行動予防のための適切な飼育方法
14	試験	
15	試験解説	

☐ 到達目標

愛玩動物の適正飼養に必要な基本的知識を理解し、
実践に結びつけて考えることができる。

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト＋期末考査で正答率60%以上で合格
ウェイト：中間：期末＝30%：70%で算出

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	1年	全専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	ホスピタリティⅡ			吉田訓代	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

日本航空客室乗務員での接客経験がある講師が、社会人として必要なビジネスマナー・接客マナーをオンライン講義形式・オンラインロールプレイング形式で実施する。

☐ 授業科目の概要

サービス接客検定2級合格を目標に、面接対策中心に実施する。

11月試験終了後は接客ロールプレイング中心の授業で、アルバイトや今後の仕事につなげられるように接客スキルを身につける。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	サービス接客検定対策	サービス接客検定2級過去問演習実施
2	サービス接客検定対策	サービス接客検定2級過去問演習実施
3	サービス接客検定対策	サービス接客検定2級過去問演習実施
4	サービス接客検定対策	サービス接客検定2級過去問演習実施
5	サービス接客検定対策	サービス接客検定2級過去問演習実施
6	電話応対	電話の基本対応
7	電話応対	電話の応用
8	社会人としてのマナー	仕事の取り組み姿勢 仕事の進め方 報告・連絡・相談のポイント
9	オフィスでのセキュリティマナー	オフィスでのセキュリティマナー SNSの危険性と注意点
10	年末年始マナー	
11	社会人としてのマナー	仕事の取り組み姿勢 仕事の進め方 報告・連絡・相談のポイント
12	社会人としてのマナー	仕事の取り組み姿勢 仕事の進め方 報告・連絡・相談のポイント
13	社会人としてのマナー	仕事の取り組み姿勢 仕事の進め方 報告・連絡・相談のポイント
14	後期考査	筆記試験実施
15	振り返り	

☐ 到達目標

サービス接客検定2級合格

第一印象アップ。愛想の良い接客

☐ 成績評価の方法・基準

検定50% 課題00% 出席状況・授業態度50%

サービス接客検定2級合格者考査免除

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	1年	全専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	ビジネスコミュニケーションⅡ			国沢好貴		
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

☐ 授業科目の概要

3月に実施する動物病院実習を成功させるために対策を具体的に実施する。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	動物病院実習について	3年間のスケジュール説明・国家資格指定科目時間数説明・動物病院実習概要説明
2	動物病院実習準備	動物病院スケジュール詳細説明・注意点確認・具体策の共有
3	動物病院実習準備/実習先決定	動物病院スケジュール詳細説明・注意点確認・具体策の共有
4	動物病院実習準備/実習先決定	動物病院スケジュール詳細説明・注意点確認・具体策の共有
5	動物病院実習準備/実習先決定	実習先詳細説明・実習先の見つけ方、調べ方を学ぶ
6	動物病院実習準備/実習先決定	実習先詳細説明・実習先の見つけ方、調べ方を学ぶ
7	動物病院実習準備/実習先決定	実習先を決定
8	動物病院実習準備/実習先決定	実習先を決定
9	動物病院実習準備/実習先決定	実習先アポイントメント電話練習
10	動物病院実習準備/実習先決定	実習書類の説明・記入方法説明
11	動物病院実習準備/実習先決定	履歴書の記入方法を学ぶ
12	動物病院実習準備/実習先決定	動物病院実習内容詳細確認・注意事項を学ぶ
13	動物病院実習準備/実習先決定	動物病院実習内容詳細確認・注意事項を学ぶ
14	期末考査対策	総まとめ、実習に向けて最終チェック
15	期末考査	実習時実施事項をメモに書き写す

☐ 到達目標

臨床現場での動物看護師の仕事内容を理解する

臨床現場でのスタッフ間、オーナー間のコミュニケーションを理解する

☐ 成績評価の方法・基準

メモ書きが現場で活用できるかを評価する

個人ごと実習中に注力したいことが記入できているか否かを評価

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	1年	全専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	ナースブリッジカリキュラム②			大海麻美	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

愛玩動物看護師として20年臨床の最前線で経験している知識また、国家資格試験を熟知した講師が講義を実施する。

☐ 授業科目の概要

実際の臨床現場で看護師に最低限求められる手技について集中的に学び、動物病院実習に安心して参加できるようにする。

実習時に病院で行われている業務を理解できる、または体験させていただき、課題を見つけることが出来るようになる。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	問診	問診とは。グループ練習
2	問診と診療補助	問診のブラッシュアップ。紐を使用した保定
3	診療補助	紐を利用した保定。身体検査の復習
4	身体検査	身体検査の実施
5	身体検査	身体検査の実施（生体）
6	保定	採血保定練習
7	保定	採血保定練習（生体）
8	保定	採血保定、基本姿勢の確認
9	CBC	血液塗抹標本作成
10	CBC	血液塗抹標本作成
11	保定	大型犬の保定
12	保定	病院実習に向けての保定練習
13	注射器	注射器の扱いと操作方法
14	期末考査	期末考査
15	解説	期末考査の解説

☐ 到達目標

臨床現場で必要な知識と技術を身に着け、
病院実習での不安や心配を自信に繋げる。

☐ 成績評価の方法・基準

試験80% 出席状況・授業態度20%

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	1年	全専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	動物形態機能学Ⅰ-②		樋口智香		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

約10年近く動物病院で獣医師として第一線で活躍されていた講師より、国試合格に向けての授業を実施することはもちろん

臨床現場での経験をもとに、看護師の心構え、獣医師としての看護師に対する思いなどを授業の際に織り交ぜながら講義を実施。

☐ 授業科目の概要

犬と猫を中心に、身体を構成する各器官系の形態（解剖）及び機能（生理）を学んでいく。

消化器系、内分泌系、栄養素の代謝について学ぶ

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	消化器1	消化器系の概要、歯の形態及び機能
2	消化器2	口腔～咽頭の形態及び機能
3	消化器3	食道～小腸の形態及び機能
4	消化器4	大腸の形態及び機能
5	消化器5	肝臓・胆嚢の形態及び機能
6	栄養素の代謝1	膵臓の形態及び機能、消化・吸収・代謝
7	栄養素の代謝2	糖の代謝　／中間テスト
8	栄養素の代謝3	脂肪の代謝
9	栄養素の代謝4	蛋白質の代謝
10	内分泌系1	内分泌系の概要、内分泌系の調整する中枢の形態及び機能
11	内分泌系2	末梢内分泌系の形態及び機能
12	内分泌系3	その他の内分泌系の形態及び機能
13	おさらい	中間テスト等の見直しを通じて、今期のおさらいを行う
14	期末テスト	—
15	期末テストの解説	期末テストの復習を行う

☐ 到達目標

国家試験で合格点以上とれる学力を身につけること

☐ 成績評価の方法・基準

中間テストと期末考査の合計正答率60%以上で合格

中間テスト：期末考査のウェイトは3：7で実施

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	1年	全専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	動物形態機能学Ⅱ-②			樽田侑	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師は現在清州動物病院副院長として臨床現場の最前線で得た知識・技術と国家資格試験経験から看護師として臨床で必要な項目また、国家試験合格のために習得必須箇所をクローズアップした授業を行う。

☐ 授業科目の概要

犬と猫を中心に、身体を構成する各器官系の形態（解剖）及び機能（生理）を学んでいく。

外皮系、感覚器系、の代謝について学ぶ

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	運動器	頭部の筋肉の形態及び機能
2	外皮系1	表皮の形態及び機能、換毛について
3	外皮系2	皮膚の付属器の形態及び機能
4	外皮系3	熱産生、皮膚感覚について
5	感覚器系1	痛覚について
6	感覚器系2	眼の形態及び機能
7	感覚器系3・中間テスト	耳の形態及び機能 / 中間テスト
8	感覚器系4	鼻と舌の形態及び機能
9	リンパ系	脾臓、胸腺、リンパ節
10	生化学1	物質の輸送、体液について
11	生化学2	ATP産生の生化学
12	生化学3	遺伝子の生化学
13	おさらい	中間テスト等の見直しを通じて、今期のおさらいを行う
14	期末テスト	期末テスト
15	期末テストの解説	期末テストの復習を行う

☐ 到達目標

国家試験で合格点以上とれる学力を身につけること

☐ 成績評価の方法・基準

中間テストと期末考査の合計正答率60%以上で合格

ウェイト：中間：期末＝30%:70%で算出

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	1年	全専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	動物行動学			亀子美穂	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師はエンゼル動物病院看護師長であり、動物看護師歴9年以上のキャリアと愛玩動物看護師国家資格取得者の経験と実績を踏まえ、動物看護師として必要な項目と国家資格試験合格に向け高出題箇所の講義を行う。

☐ 授業科目の概要

それぞれの動物種の特有、あるいは動物種を超えて共通する行動様式と行動の発現を学ぶ。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	動物行動学の基礎	行動の定義/受容器の感じ方/動機付け/至近要求と究極要求について
2	動物行動学の基礎	行動の進化・適応・家畜化/生得的行動と習慣的行動/脳による行動抑制について
3	個体維持行動	基本的行動の分類/摂食行動と飲水行動/排泄行動/身づくろい行動/護身行動について
4	個体維持行動	発達ステージ/生殖行動について/コミュニケーション行動/敵対行動と親和行動について
5	学習理論	学習理論/馴化/鋭敏化/古典的条件づけとオペラント条件づけについて
6	学習理論	学習に影響を与える因子/行動形成/基本的なトレーニング法について
7	中間テスト	
8	問題行動	問題行動の定義と要因について
9	問題行動	攻撃行動の種類・原因・治療法について
10	問題行動	恐怖・不安に起因する問題行動と治療法/不適切な排泄行動の原因と治療法/高齢性認知機能不全の原因と症状・対応について
11	行動治療	行動治療のすすめ方について
12	行動治療	環境修正法と行動修正法/行動治療における薬物療法について
13	行動治療	問題行動の予防・飼い主に指導すべきことについて
14	試験	
15	試験解説	

☐ 到達目標

アニマルウェルフェアに配慮した飼養管理技術や臨床行動学の基礎となる考え方を身につける。

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト＋期末考査で正答率60%以上で合格
ウェイト：中間：期末＝30%:70%で算出

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	1年	全専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	公衆衛生学Ⅱ			樋口智香	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

約10年近く動物病院で獣医師として第一線で活躍されていた講師より、国試合格に向けての授業を実施することはもちろん

臨床現場での経験をもとに、看護師の心構え、獣医師としての看護師に対する思いなどを授業の際に織り交ぜながら講義を実施。

☐ 授業科目の概要

対面講義型授業にて、公衆衛生の意義を理解し、食品衛生および環境衛生について学ぶ。

授業の最後に授業内容の確認問題を解き、知識の定着を図る。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	食品衛生	食品衛生の定義・食品衛生法・食品添加物
2	食品衛生	食中毒について
3	食品衛生	食中毒各論①
4	食品衛生	食中毒各論②・食品の変質・保存方法について
5	食品衛生	動物性食品の衛生・食品安全行政の動向・食品由来の健康危害防止
6	復習	1～5週までの振り返り
7	中間テスト	1～6週の範囲のテスト
8	中間テスト解説・環境衛生	中間テストの解説・日本の公害
9	環境衛生	地球環境問題・水の衛生・生活環境問題
10	環境衛生	放射線
11	環境衛生	廃棄物問題
12	環境衛生	感染予防策・衛生動物
13	復習	1～12週の振り返り（8～12週中心）
14	期末テスト	1～13週の範囲のテスト
15	期末テスト解説	期末テスト振り返り

☐ 到達目標

公衆衛生の意義を理解し、食品衛生および
環境衛生についての国家試験に対応した知識を身に着ける

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト＋期末考査で正答率60%以上で合格
ウェイト：中間：期末＝30%:70%で算出

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	1年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		動物愛護・適正飼養実習Ⅰ		金田千佳		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		講義・演習		2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

愛玩動物看護師として現在も臨床の最前線で経験している知識また、国家資格試験を熟知した講師が講義を実施する。

☐ 授業科目の概要

愛玩動物看護師の国家試験範囲の犬猫愛玩鳥の違い、動物病院に必要な口腔ケアやコミュニケーションを学ぶ
Ⅰは講義形式としてⅡで実際の機器・機材・設備などを使用する実習形式の授業を行う。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	犬・猫の飼い方	飼育管理について学ぶ
2	愛玩鳥の飼い方	飼育管理について学ぶ
3	ドッグトレーニング	トレーニングとは・ご褒美やしつけについて
4	グルーミング	グルーミングとは、シャンプーの種類・お手入れの仕方
5	グルーミング	クリッピングの入れ方・お手入れの仕方
6	グルーミング	高齢動物や、疾患動物のケア・エンゼルケア
7	中間テスト	
8	テスト返し	テスト回答
9	口腔内衛生管理	口腔内の構造・口腔内の疾患
10	口腔内衛生管理	歯周病・歯周病の予防
11	飼い主とのコミュニケーション	飼い主の対応
12	飼い主とのコミュニケーション	飼育困難者への支援・災害時時の支援
13	動物愛護管理行政	愛護センターの活動・動物取扱業について
14	期末考査	
15	テスト返し	テスト回答

☐ 到達目標

検査は動物看護師においてとても大事な知識なので、しっかり理解し、ペットの為に働ける動物看護師を目指す。

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト＋期末考査で正答率60%以上で合格
ウェイト：中間：期末＝30%:70%で算出

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	1年	全専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	動物内科看護学Ⅱ		樽田侑		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師は現在清州動物病院副院長として臨床現場の最前線で得た知識・技術と国家資格試験経験から看護師として臨床で必要な項目また、国家試験合格のために習得必須箇所をクローズアップした授業を行う。

☐ 授業科目の概要

内科診療における輸液法、輸血療法、心電図検査、X線検査についてなど

より現場で重要かつ必要となる知識を学ぶ

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	第6章輸液管理	輸液を始める前に、輸液製剤の準備
2	第6章輸液管理	輸液量の決定、準備するもの、留置針装着
3	第6章輸液管理	輸液の準備、輸液中の管理、輸液の注意点
4	第7章輸血療法	輸血療法の目的と現状、輸血計画とインフォームドコンセント、輸血用血液の確保と各種検査
5	第7章輸血療法	輸血の準備、輸血中の看護
6	第8章心電図検査および血圧測定	心電図検査
7	中間テスト	第1回～第6回の最重要箇所での中間テスト実施
8		中間テスト解説
9	第8章心電図検査および血圧測定	血圧測定
10	第9章X線検査およびCT・MRI検査	X線検査、CT検査、MRI検査
11	第10章超音波検査	超音波検査
12	重要箇所まとめ	緑書房教科書不十分な箇所の補助授業
13	期末考査対策	期末テスト前授業
14	期末考査	期末テスト
15	期末考査解説	期末考査解説

☐ 到達目標

現場で働くイメージを持ちながら内科診療における重要かつ実践的な知識を身につける

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト＋期末考査で正答率60%以上で合格

ウェイト：中間：期末＝30%：70%で算出

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	1年	全専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	動物臨床検査学			大海麻美	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

愛玩動物看護師として20年臨床の最前線で実習生を受け入れていた経験をもとに、実習時に必要な手技を伝授する。

☐ 授業科目の概要

様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方について理解する。

検体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を習得する。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	臨床検査の基礎と検体採取	臨床検査の意義、基準値の考え方、精度管理。血液・尿・糞便などの正しい採取法と保存法。
2	血液検査①：全血球計算(CBC)	血漿と血清の違い、血球計算板を用いた算定法。貧血や炎症の評価方法について。
3	血液検査②：液塗抹と細胞形態	血液塗抹標本の作製法。赤血球・白血球・血小板の形態観察と異常像の識別。
4	血液検査③：液生化学検査	各臓器の評価指標となる項目とその臨床的意義。
5	尿検査①：性状と化学的検査	尿の色、比重、試験紙法による定性検査。糖尿病や腎疾患のスクリーニング。
6	尿検査②：尿沈渣検査	遠心分離による沈渣の作製。結晶、円柱、細胞、細菌の鑑別。
7	中間試験	中間試験
8	試験解説と糞便検査の導入	解説＋糞便検査（寄生虫卵・原虫の検出法）の概要説明
9	糞便検査と皮膚・耳垢検査	糞便の直接塗抹法・浮遊法。皮膚掻爬検査や耳垢検査における微生物の観察
10	細胞診(FNA)と病理組織検査	細胞診の採取法と染色法。良性・悪性腫瘍の鑑別ポイントと病理組織検査への流れ。
11	ウイルス・免疫学的検査	スナップテスト等の簡易キットの原理。ウイルス、フィリヤ、抗体価検査。
12	遺伝子検査と凝固系検査	PCR検査の目的と応用。止血機能を確認する凝固系検査の目的と意義。
13	検査機器の保守と総合演習	マイクロピペットや遠心分離器、自動血球計数装置の扱い方。国家試験対策の総復習
14	期末考査	期末考査
15	試験解説	試験解説

☐ 到達目標

臨床検査学を理解し、国家試験の合格を目指す

☐ 成績評価の方法・基準

中間30% 期末70%

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	1年	全専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	動物内科看護学実習Ⅱ			望月章史	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	実験・実習・実技			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

動物看護師として25年以上のキャリアがあり、現在はVCAjapan合同会社王禅寺ペットクリニック看護部マネジャーとして活躍されている講師より、動物看護の手技だけでなく、心構えや臨床での事例などを織り交ぜて、国試合格を目指し授業を実施

☐ 授業科目の概要

小動物臨床の現場に必要な「診察補助と身体検査」「輸液管理」「動物看護技術の実践と応用」

「輸血管理」「マイクロチップの装着」についての知識と技術を身に付けられるように、座学と実習形式で授業を行う。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	第5節 動物看護技術の実践と応用	テキスト第5節 3「投薬方法」についての座学・実習
2	第5節 動物看護技術の実践と応用	テキスト第5節 3「投薬方法」についての座学・実習
3	第1節 診察補助と身体検査：第5節 動物看護技術の実践…	テキスト第1節・第5節 身体検査・採血時の補助・投薬方法についての座学・実習
4	第2節 輸液管理	テキスト第2節 輸液管理「血管確保」についての座学・実習
5	第2節 輸液管理	テキスト第2節 輸液管理「輸液ポンプの接続と管理」についての座学・実習
6	第2節 輸液管理	テキスト第2節 輸液管理「輸液ポンプの接続と管理」についての座学・実習
7	中間考査	実習テスト＋筆記テスト
8	中間考査解説	テスト内容の振り返りと解説
9	第2節 輸液管理	テキスト第2節 輸液管理「輸液量と輸液速度の計算」についての座学・実習
10	第3節 輸血管理	テキスト第3節 輸血管理についての座学・実習
11	第3節 輸血管理	テキスト第3節 輸血管理についての座学・実習
12	第6節 マイクロチップの装着	テキスト第6節 マイクロチップの装着についての座学
13	後期授業の振り返り	後期授業内容 全体の振り返り
14	期末考査	筆記テスト
15	期末考査解説	テスト内容の振り返りと解説

☐ 到達目標

内科看護学に必要な知識・技術の習得と国家試験攻略のスキル習得

☐ 成績評価の方法・基準

中間考査（実習＋筆記）30％ 期末考査（筆記）70％

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	1年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		動物外科看護学実習Ⅰ		樽田侑		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		実験・実習・実技		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師は現在清州動物病院副院長として臨床現場の最前線で得た知識・技術と国家資格試験経験から看護師として臨床に必要な項目
また、国家試験合格のために習得必須箇所をクローズアップした授業を行う。

☐ 授業科目の概要

手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	手術関連業務	リネン類等の種類と準備について
2	手術関連業務	手術器具の種類と目的について
3	手術関連業務	縫合糸・縫合針の種類と特性について
4	手術関連業務	滅菌について
5	手術関連業務	術野の毛刈りと消毒について
6	手術関連業務	気管挿管
7	中間テスト	中間テスト
8	手術関連業務	手洗い及び術衣、手袋の着用方法について
9	手術関連業務	麻酔薬・鎮痛薬
10	手術関連業務	麻酔器の仕組み、操作方法
11	手術関連業務	術中のバイタルサイン評価
12	手術関連業務	麻酔モニター操作方法、麻酔モニタリング
13	小テスト	期末考査対策テスト
14	期末考査	期末考査
15	振り返り	期末考査振り返り

☐ 到達目標

術後管理の基本を実施目的も踏まえ
自ら考え実際の外科的処置の際の動きをマスターする

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト＋期末考査で正答率60%以上で合格
ウェイト：中間：期末＝30%：70%で算出

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	1年	全専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	猫学Ⅱ		NBA 澤田由紀		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師は、動物の専門学校を卒業後3年間犬猫が講師として勤務。その後開業し、現在までの30年間生体販売、トリミング、ペットホテルキャットシッターの業務に従事した実績をもとに講義を行う。

☐ 授業科目の概要

オンデマンド配信による講義形式で授業をおこなう。講義内容は事前収録し、各学科・クラスのClassroom／Teams等を通して毎週配信し、学生は自宅等で視聴。講義内容は配信後、一定期間再視聴できるように設定され、復習等に活用することができる。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	前期振り返り	猫との暮らしについて
2	管理・飼育方法	完全室内飼育・先住動物との暮らし/猫の生活に必要な用品
3	食事・食性	第2回振り返り(小テスト)/猫の食事・食性/猫に危険な植物
4	食事・食性	ペットフードについて/ペットフード安全法/総合栄養食・間食・療法食/添加物/ペットフードの種類
5	猫の健康管理	第3回・4回振り返り(小テスト)/健康チェック(耳・口腔・外部寄生虫・排泄物)
6	ワクチン・不妊手術	ワクチンについて(時期と必要性・種類・副作用と服薬応)/理想のワクチンの打ち方/予防できる病気/不妊(避妊・去勢)手術について(メリットとデメリット)
7	繁殖	猫の繁殖について 交配/交尾/妊娠期間/妊娠中の管理/出産準備/出産・産後の管理
8	グルーミング	ケースグルーミングについて 必要性/猫のカットと種類/皮膚疾患などの予防・治療、外部寄生虫対策/高齢猫のグルーミング
9	猫種について	パーマン/ターキッシュアンゴラ/ターキッシュバン/セルカークレックス/ラパーマ コーニッシュレックス/デボンレックス/ジャバニーズボブテイル/コラット/シンガプーラ/シャルトリュウ/エジプシャンマウ/オシキャット
10	猫種について	パーミーズ/ボンベイ/トンキニーズ/オリエンタル(ショート&ロング)/スフィンクス/ハバナ/マンクス/アメリカンワイヤーヘア
11	まとめ①	後期末まとめ/復習
12	まとめ②	後期末まとめ/復習
13	テスト対策	後期考查対策
14	後期考查	
15	テスト振り返り	後期考查振り返り・解説

☐ 到達目標

猫の管理と飼育方法を知る

猫種について学ぶ

☐ 成績評価の方法・基準

試験100%

正解率60%以上で合格

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	1年	全専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	愛玩動物飼養管理士Ⅱ			宮崎麗奈		
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

☐ 授業科目の概要

オンデマンド配信による講義形式で授業を行う。愛玩動物飼養管理士として、動物愛護や人と動物の共生などの活動を担う中心的存在として活躍するために、基本的理解を深めるとともに、専門知識への応用理解へつなげる。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	復習	前期期末考查復習
2	動物愛護・適正飼養関連法規 1	動物と法律、愛護適正飼養関連行政法規
3	動物愛護・適正飼養関連法規 2	社会福祉行政、環境衛生法規、野生動物等に関する法律および条約
4	演習	11/22(日)愛玩飼養管理士2級合格に向けて
5	演習	11/22(日)愛玩飼養管理士2級合格に向けて
6	演習	11/22(日)愛玩飼養管理士2級合格に向けて
7	演習	11/22(日)愛玩飼養管理士2級合格に向けて
8	生命倫理と動物福祉	生命倫理の概念、動物福祉の概念、動物福祉
9	愛玩動物学	栄養と食事、高齢動物
10	動物の行動とつけ1	発達過程と社会行動、学習理論、
11	動物の行動とつけ2	犬のしつけの基本、室内飼育猫のしつけの基本
12	人と動物の関係学1	人間と動物の関わり
13	人と動物の関係学2	動物と社会問題
14	復習	総復習/期末考查に向けて
15	期末考查	

☐ 到達目標

愛玩動物飼養管理士2級合格

☐ 成績評価の方法・基準

期末考查100%

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	1年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		人と動物の関係学		田上あす香		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		講義・演習		2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

ペット業界で26年間勤務し、現在では動物病院でトリマー兼愛玩動物看護師としての経験と実績を踏まえ、看護師に必要な項目や国家試験合格に必ず学ばなくてはならない箇所を有資格者の観点から講義を行う。

☐ 授業科目の概要

動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的および社会的側面からその実態、課題などを含めて理解する

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	人と動物の関わりの歴史	人と動物の関わり
2	人と動物の関わりの歴史	文学・芸術における動物：日本と西洋における動物との関わりと比較
3	現代の人と動物の関わり	動物の飼育と利用の現状
4	現代の人と動物の関わり	人の生活に貢献する動物の役割
5	動物介在活動・動物介在療法 動物介在教育	動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育の定義と歴史
6	動物介在活動・動物介在療法 動物介在教育	動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育を効果的に実施するには
7	中間テスト 動物介在活動 動物介在療法・動物介在教育	第1回～第6回の最重要箇所での中間テスト実施 学校飼育動物の目的や実際、愛玩動物看護師の関わり
8	人間と動物の関わり	中間テスト解説 人はなぜペットを飼うのか・ペット飼育の歴史と現状
9	人間と動物の関わり	ペットの飼育・ペットへの愛情と依存・ペットロスの定義と対策
10	人間の福祉と愛玩動物の関わり	動物虐待の定義と背景・動物虐待への対処
11	人間の福祉と愛玩動物の関わり	動物虐待の現状と法規制・多頭飼育崩壊の定義と背景
12	人間の福祉と愛玩動物の関わり	愛玩動物が子どもや高齢者に与える恩恵・加齢による飼育困難
13	社会における動物の役割	Veterinary Socu Workと動物看護師
14	期末考査	期末考査
15	期末考査解説	期末考査解説

☐ 到達目標

期末考査で正解率80%
人と動物の関わり方の基本を理解する

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト＋期末考査で正答率60%以上で合格
ウェイト：中間：期末＝30%:70%で算出

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	2年	全専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	国家試験対策講座1			安部満里菜		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

愛玩動物看護師として株式会社新日本科学では実験動物管理部、薬理研究部で経験を積み、その後動物病院でも勤務経験をもとに国家試験合格、愛玩動物看護師として必須知識を授業を介し学生へ伝えていく。

☐ 授業科目の概要

1年生で履修済みの科目において、国家試験頻出分野の暗記をするため繰り返し講義およびテストを実地する。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	力試しテスト	履修済み科目における現在の理解度を把握するためのテストを実施
2	力試しテスト解説 形態機能学	力試しテスト解説 細胞小器官・主要臓器の名前と役割
3	形態機能学	内分泌ホルモンの分泌腺と作用
4	小テスト	第2,3回の内容についてテスト
5	栄養学	五大栄養素とビタミン・ミネラルの分類
6	栄養学	与えてはいけない食べ物
7	小テスト	第2,3,5,6回の内容についてテスト
8	形態機能学・臨床検査学	血液の構造と分類
9	臨床検査学	血液検査
10	臨床検査学	尿検査、便検査
11	小テスト	第2,3,5,6,8,9,10回の内容についてテスト
12	形態機能学実習	病理組織標本
13	感染症学	細菌・ウイルスの分類と主要な寄生虫
14	小テスト	第2,3,5,6,8,9,10,12,13回の内容についてテスト
15	期末テスト	期末テスト

☐ 到達目標

1年生で履修済みの科目において国家試験頻出分野の内容を習得する

☐ 成績評価の方法・基準

期末テスト100%

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	2年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		ビジネスコミュニケーションⅢ		国沢好貴		
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

☐ 授業科目の概要

夏の動物病院実習の成功、就職活動の準備を目的とする。授業を通して、振り返りの方法をマスターし、就職後の成長の方法を習得する。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	現状把握	前回実習評価表の確認
2	振り返りのやり方	振り返りの方法理解
3	振り返りのやり方	学長メッセージ視聴＆アカデミアカリキュラムの理解
4	振り返りシート作成＆個人面談	振り返りシート作成
5	振り返りシート作成＆個人面談	振り返りシート作成
6	実習先検索＆決定	実習先の検索 自分に合った研修先の検索
7	実習先検索＆決定	実習先の検索 自分に合った研修先の検索
8	履歴書の記入方法	履歴書の記入確認
9	志望動機の記入方法	志望動機の記入方法
10	実習先への連絡方法	電話の連絡
11	実習での実施事項	実習内容の把握＆実習で行いこと
12	実習での注意事項	質問の立案
13	実習準備	メールの正しい使い方
14	実習準備	実習の振り返り（過去）
15	期末考査	実習内容の模写

☐ 到達目標

前回の実習評価を上回る

前回の実習評価Aの物は夏実習もA評価を取得する

☐ 成績評価の方法・基準

実習内容の模写 一般「C」 工夫あり「B」「A」

実習に十分活用できる「S」

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	2年	全専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	コンピューター演習Ⅲ		日出間隆樹		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

ソフトウェア企業において、プログラミング・S E 経験。その後専門学校にて30数年の教員経験、現在に至る。

☐ 授業科目の概要

E X C E L の応用操作を習得し、各種集計作業を実現できるように指導。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	オリエンテーション	E X C E L 1 年時の復習
2	E X C E L ①	条件付き集計① SUMIF AVERAGEIF COUNTIF
3	E X C E L ②	条件付き集計② SUMIFS AVERAGEIFS COUNTIFS
4	E X C E L ③	複数シート間の集計① 3 D 集計 作業グループ
5	E X C E L ④	複数シート間の集計② 統合機能
6	E X C E L ⑤	データベース機能① 並べ替え オートフィルタ
7	E X C E L ⑥	データベース機能② フィルタオプション
8	E X C E L ⑦	データベース機能③ フィルタオプション 条件付き書式
9	E X C E L ⑧	データベース機能④ データベース関数 DSUM DCOUNT DAVERAGE DMAX DMIN
10	E X C E L ⑨	データベース機能⑤ データベース関数 DSUM DCOUNT DAVERAGE DMAX DMIN
11	E X C E L ⑩	データベース機能⑥ データベース関数 グループ集計
12	E X C E L ⑪	データベース機能⑦ グループ集計
13	E X C E L ⑫	復習
14	前期期末試験答案練習	試験対策
15	前期末試験	

☐ 到達目標

各種関数の使い方をマスターする

☐ 成績評価の方法・基準

試験50% 課題25% 出席状況・授業態度25%

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	2年	全専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	動物形態機能学Ⅱ-①			堀内香	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師は20年以上獣医師として動物病院で勤務する傍ら、日本獣医中医薬学院の設立、学生育成の実績を踏まえ、有資格者また獣医師の目線から動物看護師に必要なことまた、国家資格試験合格のために講義を行う。

☐ 授業科目の概要

動画配信で講義を実施し、中間試験1回、期末試験1回を実施。

教科書内の練習問題はもちろん愛玩動物看護師国家試験の過去問を多数解説します。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	第7章 からだの支持と運動	体の位置・方向を示す用語と表面解剖学的区分
2	第7章 からだの支持と運動	骨格
3	第7章 からだの支持と運動	骨格筋
4	第8章 からだの支持と運動	骨格筋
5	第8章 外皮系と体温調節	外皮・皮膚の付属器官・皮膚による体温調節機構
6	第7章と第8章	第1回から5回のふりかえり
7	中間試験・第8章 ふりかえり	呼吸器の構造
8	第9章 呼吸とその調節	呼吸器の構造
9	第9章 呼吸とその調節	呼吸器の構造
10	第9章 呼吸とその調節	呼吸器の構造
11	第9章 呼吸とその調節	呼吸器の構造
12	第9章 呼吸とその調節	呼吸
13	第9章 呼吸とその調節	第7回から12回のふりかえり
14	定期試験	期末考査
15	ふりかえり	試験のふりかえり

☐ 到達目標

動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに、病的変化について学ぶ基盤を確立する。

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト＋期末考査で正答率60%以上で合格
ウェイト：中間：期末＝30％:70％で算出

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	2年	全専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	比較動物学Ⅰ			樽田侑	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師は現在清州動物病院副院長として臨床現場の最前線で得た知識・技術と国家資格試験経験から看護師として臨床で必要な項目
また、国家試験合格のために習得必須箇所をクローズアップした授業を行う。

☐ 授業科目の概要

飼養動物に主眼をおいて、その歴史や品種や種類、管理法や意義について学ぶ

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	第1章	馬
2	第1章	豚
3	第1章	羊
4	第1章	山羊
5	第1章	鶏
6	第1章	畜産業
7	中間テスト	第1回～第6回の最重要箇所での中間テスト実施
8		中間テスト解説
9	第2章実験動物	実験動物学総論
10	第2章実験動物	実験動物の管理学
11	第2章実験動物	代表的な実験動物の特性と飼育
12	第2章実験動物	代表的な実験動物の特性と飼育
13	第2章実験動物	疾患モデル動物
14		期末テスト
15		期末考査解説

☐ 到達目標

飼養動物、野生動物やそれらを取り巻く環境、
人の活動との関わり方などについて知る

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト＋期末考査で正答率60%以上で合格
ウェイト：中間：期末＝30%:70%で算出

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	2年	全専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	動物薬理学Ⅱ		安部満里菜		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

愛玩動物看護師として株式会社新日本科学では実験動物管理部、薬理研究部で経験を積み、その後動物病院でも勤務経験をともに国家試験合格、愛玩動物看護師として必須知識を授業を介し学生へ伝えていく。

☐ 授業科目の概要

動物の薬理学の基礎概念を理解し、各器官系に作用する薬の分類・作用機序・臨床的应用を学ぶ。消化器系、
オータコイド・内分泌・代謝系、血液・免疫系に作用する薬および化学療法薬について、総論・各論の両面から体系的に習得する。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	消化器系に作用する薬① 薬用量計算	制吐薬、胃酸分泌抑制薬、胃粘膜保護薬、止瀉薬、瀉下薬 薬用量計算
2	消化器系に作用する薬② 薬用量計算	消化管運動調整薬、肝疾患・膵疾患の治療薬 消化器系に作用する薬 小テスト・薬用量計算
3	オータコイド系の薬 薬用量計算	ヒスタミン、セロトニン、エイコサノイド、ブラジキニン、一酸化窒素に関連する薬 薬用量計算
4	抗炎症薬 薬用量計算	ステロイド性抗炎症薬、非ステロイド性抗炎症薬 薬用量計算
5	内分泌系の薬 薬用量計算	糖尿病、甲状腺機能障害、副腎機能障害の薬 薬用量計算
6	代謝系の薬	脂質代謝、骨代謝の薬 オータコイド・内分泌・代謝系の薬 小テスト
7	中間テスト	中間テスト
8	中間テスト振り返り 免疫系に作用する薬・薬用量計算	中間テスト振り返り 免疫系に作用する薬・薬用量計算
9	血液に作用する薬 薬用量計算	抗貧血薬、血液凝固阻害薬、血液凝固促進薬 血液・免疫系に作用する薬 小テスト・薬用量計算
10	化学療法薬① 薬用量計算	抗腫瘍薬
11	化学療法薬② 薬用量計算	抗菌薬
12	化学療法薬③ 薬用量計算	抗真菌薬・抗原虫薬・駆虫薬
13	化学療法薬④	消毒薬 化学療法薬 小テスト
14	期末テスト	期末テスト
15	期末テスト振り返り	期末テスト振り返り

☐ 到達目標

薬の作用機序と薬効を理解し、安全で適切な薬物使用の
基礎を身につける。薬用量計算を習得する

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト＋期末考査で正答率60%以上で合格
ウェイト：中間：期末＝30%:70%で算出

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	2年	全専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	動物感染症学Ⅱ			樽田侑	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師は現在清州動物病院副院長として臨床現場の最前線で得た知識・技術と国家資格試験経験から看護師として臨床で必要な項目
また、国家試験合格のために習得必須箇所をクローズアップした授業を行う。

☐ 授業科目の概要

動物内科診療で必須となる知識(動物の一般的特徴,検査,投薬法など)・技術(保定,採血など)を深め、
現場で活かせるかつ国家試験合格へ向けた学習をする

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	第4章動物感染症	感染症の成立要因、病原体の感染経路と伝播様式
2	第4章動物感染症	代表的な疾患(猫の上部気道感染症、気管支炎、肺炎)
3	第4章動物感染症	代表的な疾患(膿胸、犬ジステンパー、犬伝染性呼吸器症候群)
4	第1回小テスト（1週～3週）	小テスト
5	第4章動物感染症	代表的な疾患(根尖周囲膿瘍、パルボウイルス感染症、)
6	第4章動物感染症	代表的な疾患(腎盂腎炎、尿路結石症、感染性膀胱炎)
7	第4章動物感染症	代表的な疾患(犬レプトスピラ感染症、子宮蓄膿症、乳腺炎)
8	第2回小テスト（5週～7週）	小テスト
9	第4章動物感染症	代表的な疾患(犬ブルセラ症、膿皮症、外耳炎)
10	第4章動物感染症	代表的な疾患(皮膚糸状菌症、マラセチア皮膚炎、ヘモプラズマ症)
11	第4章動物感染症	代表的な疾患(猫伝染性腹膜炎、猫白血病ウイルス感染症、猫免疫不全ウイルス感染症)
12	第3回小テスト（9週～11週）	小テスト
13	期末考査対策	第1回～第3回の小テストポイント解説
14	期末考査	期末考査
15	期末考査解説	期末考査解説

☐ 到達目標

動物看護師として動物病院で働く自覚を持つ

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト+期末考査で正答率60%以上で合格
ウェイト：中間：期末＝30%:70%で算出

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	2年	全専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	公衆衛生学 I		樋口智香		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

約10年近く動物病院で獣医師として第一線で活躍されていた講師より、国試合格に向けての授業を実施することはもちろん

臨床現場での経験をもとに、看護師の心構え、獣医師としての看護師に対する思いなどを授業の際に織り交ぜながら講義を実施。

☐ 授業科目の概要

対面講義型授業にて、公衆衛生の意義を理解し、疫学や疾病予防、人獣共通感染症について学ぶ。

授業の最後に授業内容の確認問題を解き、知識の定着を図る。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	愛玩動物看護師と公衆衛生	公衆衛生の目的・獣医師と愛玩動物看護師の役割
2	愛玩動物看護師と公衆衛生	国民衛生の動向・薬剤耐性菌
3	疫学と疾病予防	感染について・感染症対策・バイオハザード
4	疫学と疾病予防	疫学について・スクリーニング・サーベイランス
5	人獣共通感染症	人獣共通感染症の概要/感染症の分類/新興感染症と再興感染症
6	復習	1～5週までの振り返り
7	中間テスト	1～6週の範囲のテスト
8	中間テスト解説・人獣共通感染症	中間テストの解説・狂犬病について
9	人獣共通感染症	ウイルス性人獣共通感染症
10	人獣共通感染症	細菌性人獣共通感染症
11	人獣共通感染症	真菌性人獣共通感染症・寄生虫性人獣共通感染症・その他の人獣共通感染症
12	人獣共通感染症	人獣共通感染症に関連する法律・総まとめ
13	復習	1～12週の振り返り（8～12週中心）
14	期末テスト	1～13週の範囲のテスト
15	期末テスト解説	期末テスト振り返り

☐ 到達目標

公衆衛生の意義を理解し、疫学や疾病予防および

人獣共通感染症についての国家試験に対応した知識を身に付ける

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト＋期末考査で正答率60%以上で合格

ウェイト：中間：期末＝30%：70%で算出

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	2年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		動物内科看護学Ⅱ		樽田侑		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師は現在清州動物病院副院長として臨床現場の最前線で得た知識・技術と国家資格試験経験から看護師として臨床に必要な項目
また、国家試験合格のために習得必須箇所をクローズアップした授業を行う。

☐ 授業科目の概要

内科診療における輸液法、輸血療法、心電図検査、X線検査についてなど
より現場で重要かつ必要となる知識を学ぶ

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	第6章輸液管理	輸液を始める前に、輸液製剤の準備
2	第6章輸液管理	輸液量の決定、準備するもの、留置針装着
3	第6章輸液管理	輸液の準備、輸液中の管理、輸液の注意点
4	第7章輸血療法	輸血療法の目的と現状、輸血計画とインフォームドコンセント、輸血用血液の確保と各種検査
5	第7章輸血療法	輸血の準備、輸血中の看護
6	第8章心電図検査および血圧測定	心電図検査
7	中間テスト	第1回～第6回の最重要箇所での中間テスト実施
8		中間テスト解説
9	第8章心電図検査および血圧測定	血圧測定
10	第9章X線検査およびCT・MRI検査	X線検査、CT検査、MRI検査
11	第10章超音波検査	超音波検査
12		緑書房教科書不十分な箇所の補助授業
13		期末テスト前授業
14		期末テスト
15		期末考査解説

☐ 到達目標

現場で働くイメージを持ちながら内科診療における重要かつ実践的な知識を身につける

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト＋期末考査で正答率60%以上で合格
ウェイト：中間：期末＝30%:70%で算出

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	2年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		動物臨床看護学各論Ⅰ		井上健司		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

獣医師及び病院責任者を務める講師より、国家資格試験合格に向け、高出題箇所を中心に講義を実施する

☐ 授業科目の概要

さまざまな疾患の病態生理を理解し、それによつて引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	第1章	徴候とは、代表的な徴候と対処法-全身徴候とその援助
2	第1章	徴候とは、代表的な徴候と対処法-全身徴候とその援助
3	第1章	特異的徴候とその援助-咳・心雑音・不整脈・高血圧・努力性呼吸・流涎・嘔吐と吐出・下痢と血便・便秘
4	第1章	特異的徴候とその援助-黄疸・頻尿・血尿・多飲多尿・貧血・出血傾向・運動不耐
5	第1章	特異的徴候とその援助-跛行・掻痒・発作・視力障害・難聴・眼振・斜頸
6	第1章	特異的病態
7	中間テスト	中間テスト
8	第2章-①	呼吸器疾患とは、呼吸器疾患の診察・検査・治療
9	第2章-①	代表的な呼吸器疾患
10	第2章-②	代表的な呼吸器疾患、呼吸器疾患の動物看護
11	第3章-②	循環器疾患とは、循環器疾患の診察・検査・治療
12	第4章-②	代表的な循環器疾患
13	第5章-②	代表的な循環器疾患、循環器疾患の動物看護
14	期末テスト	期末考査
15	期末考査振り返り	期末考査振り返り

☐ 到達目標

各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供するか
評価と介入の方法について理解する。

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト＋期末考査で正答率60%以上で合格
ウェイト：中間：期末＝30%：70%で算出

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	2年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		動物内科看護学実習Ⅲ		望月章史		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		実験・実習・実技		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

愛玩動物看護師として20年臨床の最前線で経験している知識また、国家資格試験を熟知した講師が講義を実施する。

☐ 授業科目の概要

小動物臨床の現場に必要な「診察補助と身体検査」「動物看護技術の実践と応用」「X線検査」「心電図検査」についての知識と技術を身に付けられるように、座学と実習形式で授業を行う。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	第1節 診察補助と身体検査 +M+D25:AM39	テキスト第1節「2 身体検査とバイタルサイン評価」+採血時の補助についての座学
2	第1節 診察補助と身体検査	テキスト第1節「2 身体検査とバイタルサイン評価」+採血時の補助についての座学・実習
3	第7節 X線検査	テキスト第7節「X線検査」についての座学
4	第7節 X線検査	テキスト第7節「X線検査」についての座学・実習
5	第7節 X線検査	テキスト第7節「X線検査」についての座学・実習
6	第9節 心電図検査	テキスト第9節「心電図検査」についての座学
7	中間考査	実習テスト+筆記テスト
8	中間考査解説	テスト内容の振り返りと解説
9	第9節 心電図検査	テキスト第9節「心電図検査」についての座学・実習
10	第5節 動物看護技術の実践と応用	テキスト第5節「2 薬剤の取り扱い」についての座学・実習
11	第5節 動物看護技術の実践と応用	テキスト第5節「2 薬剤の取り扱い」についての座学・実習
12	第5節 動物看護技術の実践と応用	テキスト第5節「3 投薬方法」についての座学・実習
13	前期授業の振り返り	前期授業内容 全体の振り返り
14	期末考査	筆記テスト
15	期末考査解説	テスト内容の振り返りと解説

☐ 到達目標

内科看護学に必要な知識・技術の習得と国家試験攻略のスキル習得

☐ 成績評価の方法・基準

中間考査（実習＋筆記）30％ 期末考査（筆記）70％

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	2年	全専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	ナースブリッジカリキュラムⅡ			大海麻美	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	実験・実習・実技			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

愛玩動物看護師として20年臨床の最前線で経験している知識また、国家資格試験を熟知した講師が講義を実施する。

☐ 授業科目の概要

実際の臨床現場で看護師に最低限求められる手技について集中的に学び、動物病院実習に安心して参加できるようにする。

実習時に病院で行われている業務を理解できる、または体験させていただき、課題を見つけることが出来るようになる。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	実習振り返り	病院実習を終えて、それぞれの評価と振り返り
2	1年生の復習	内科看護学実習の復習
3	1年生の復習	内科看護学実習の復習
4	1年生の復習	内科看護学実習の復習
5	血液検査	1年生の振り返り、Ht管、色々な動物の血液について
6	血液検査	CBC
7	中間テスト	第1回～第6回の最重要箇所での中間テスト実施
8		中間テスト解説
9	血液検査	CBC
10	血液検査	CBC
11	血液検査	CBC
12	保定	保定（基本姿勢/採血）
13	保定	保定（基本姿勢/採血）
14	期末考査	期末考査
15	期末考査解説	期末考査解説

☐ 到達目標

臨床現場で必要な知識と技術を身に着け、
病院実習での不安や心配を自信に繋げる。

☐ 成績評価の方法・基準

中間30% 期末70%

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	2年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		エキゾチックアニマルⅡ		井上健司		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

獣医師及び病院責任者を務める講師より、国家資格試験合格に向け、高出題箇所を中心に講義を実施する

☐ 授業科目の概要

エキゾチックアニマルについて学ぶ 爬虫類と両生類について学びを深くする

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	オリエンテーション	エキゾチックアニマルとは・・・
2	爬虫類と両性類について	爬虫類と両生類
3	エキゾチックアニマルについて	エキゾにまつわるエトセトラ
4	エキゾチックアニマルについて	エキゾにまつわるエトセトラ
5	爬虫類の分類	爬虫類の分類
6	爬虫類について	爬虫類-身体的・解剖学的・生理学的特徴
7	爬虫類について	爬虫類-種類と飼育1
8	爬虫類について	爬虫類-種類と飼育2
9	爬虫類について	爬虫類-診察と疾病・検査・薬剤投与
10	両生類の分類について	両生類の分類
11	両生類について	両生類-身体的・解剖学的・生理学的特徴
12	両生類について	両生類-種類と飼育1
13	両生類について	両生類-種類と飼育2
14	両生類について	両生類-診察と疾病・検査・薬剤投与
15	期末テスト	期末考査

☐ 到達目標

エキゾチックを学んだことを臨床の現場で役立てられるようになる

☐ 成績評価の方法・基準

期末考査で正答率60%以上で合格

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	2年	全専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	トレーニング実習Ⅰ			宮崎麗奈・齊藤惇		
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	実験・実習・実技			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

☐ 授業科目の概要

犬への基本的な指示の習得。正しい犬との接し方。C級ライセンスへの意識づけ。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	講義	授業説明、道具説明
2	講義	犬との歩き方、接し方、リードの基本
3	講義	体さばき、体重移動、指示の出し方（アイコンタクト）
4	実習	基本動作（姿勢・声符・指符）－マテ・スワレ・ツケ・オイデ
5	実習	基本動作－左回転
6	実習	基本動作－右回転
7	実習	基本動作－交差
8	実習	脚側行進（初回）
9	実習	脚側行進（応用）－転回
10	実習	アジリティ（ハードル）
11	実習	アジリティ（トンネル）
12	実習	アジリティ（タイヤ）
13	実習	アジリティ（平均台）
14	実習	基本動作
15	期末考査	前期考査

☐ 到達目標

基本動作の習得。安全な歩行。

☐ 成績評価の方法・基準

出席率・授業態度 60%

期末考査 40%

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	2年	全専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	愛玩動物学Ⅰ			田上あす香	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

ペット業界で26年間勤務し、現在では動物病院でトリマー兼愛玩動物看護師としての経験と実績を踏まえ、看護師に必要な項目や国家試験合格に必ず学ばなくてはならない箇所を有資格者の観点から講義を行う。

☐ 授業科目の概要

愛玩動物の歴史や品種、愛玩動物の生態や適切な飼養管理方法、血統と血統書について学び、動物と愛玩動物看護師の関わりについて理解する。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	犬の歴史・品種・飼養管理	歴史・現在の飼育状況
2	犬の歴史・品種・飼養管理	犬の活用・代表的な品種の特徴
3	犬の歴史・品種・飼養管理	飼養管理
4	犬の歴史・品種・飼養管理	品種に適したグルーミング
5	猫の歴史・品種・飼養管理	歴史・現在の飼育状況
6	猫の歴史・品種・飼養管理	猫の活用・特徴
7	中間テスト 猫の歴史・品種・飼養管理	中間テスト ライフサイクル・代表的な品種の特徴
8	猫の歴史・品種・飼養管理	飼養管理・品種に適したグルーミング
9	血統と血統書	血統書の意義・血統書の読み取り方
10	血統と血統書	血統管理と品種改良
11	愛玩鳥の特徴・生態・飼養管理	歴史・現在の飼育状況
12	愛玩鳥の特徴・生態・飼養管理	代表的な品種の特徴・飼養管理
13	ウサギの特徴・生態・飼養管理	背景・飼養管理
14	期末テスト	期末テスト
15	期末テスト解説	期末テスト解説

☐ 到達目標

愛玩動物の歴史や品種、血統と血統書について、説明できる。
愛玩動物の生態を理解し、適切な飼養管理方法を指導できる。

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト＋期末考査で正答率60%以上で合格
ウェイト：中間：期末＝30%:70%で算出

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	2年	xx専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	国家試験対策講座2			安部満里菜		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

愛玩動物看護師として株式会社新日本科学では実験動物管理部、薬理研究部で経験を積み、その後動物病院でも勤務経験をもとに国家試験合格、愛玩動物看護師として必須知識を授業を介し学生へ伝えていく。

☐ 授業科目の概要

1年生で履修済みの科目において、国家試験頻出分野の暗記をするため繰り返し講義およびテストを実地する。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	力試しテスト	履修済み科目における現在の理解度を把握するためのテストを実施
2	力試しテスト解説 形態機能学	力試しテスト解説 形態機能学
3	形態機能学	形態機能学
4	小テスト	第2,3回の内容についてテスト
5	薬理学	基礎・神経系・呼吸器
6	薬理学	循環器・泌尿器
7	小テスト	第2,3,5,6回の内容についてテスト
8	薬理学	抗がん剤
9	薬理学	抗菌薬・抗真菌薬
10	薬理学	駆虫薬・抗原虫薬
11	小テスト	第2,3,5,6,8,9,10回の内容についてテスト
12	感染症	微生物
13	感染症	寄生虫
14	小テスト	第2,3,5,6,8,9,10,12,13回の内容についてテスト
15	期末テスト	期末テスト

☐ 到達目標

履修済みの科目において国家試験頻出分野の内容を習得する

☐ 成績評価の方法・基準

期末テスト100%

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	2年	全専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	ビジネスコミュニケーションⅣ			CSC_AN		
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			1	00×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

☐ 授業科目の概要

1年前期「ビジネスコミュニケーションⅠ」の流れを引き継ぎ、業界EXPOの準備を通して就職活動に必要な知識を身につけていきます。

業界EXPO後はリフレクションを通して個人の課題を見つけ、最終的には就職活動を一人でも行える能力を身に付けます。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	意識づけ（就職活動、業界EXPO）	就職活動（社会保険、キャリア形成、準備）、業界EXPO（5つの人間力など）、就職活動スケジュール確認など
2	就職活動のスーツやメイクと就職活動の軸	就職活動を行うためのスーツやメイクについてレクチャーする。後半は学生個人の就職活動の軸について考える
3	書類作成①	志望動機と自己PRの作成手順の説明し、実際に作成してみる
4	書類作成②	前回作成した自己PR（履歴書自己PR欄＝業界EXPO参加票）を添削し、参加票に清書書きを行う
5	業界EXPO準備①	スーツ登校させ事前チェックを行う、参加票の清書書きを行う、企業研究シート作成の説明を行う
6	業界EXPO準備②	企業研究シートの作成、業界EXPOでの質問時のマナーを説明し質問を考える、業界EXPO当日の注意事項などを学生パンフを使い確認していく
7	業界EXPO振り返り	業界EXPOの振り返り（リフレクション）を行い、後半は就職活動マナー（メール、電話、封筒、送り状、お礼状、企業説明会参加のマナーなど）を学ぶ
8	書類作成③	志望動機と自己PR以外の履歴書の書き方をレクチャーする
9	就職活動対策①	エントリーシートの書き方と活動の流れをしっかりと理解する※ペット愛玩は研修注意事項と電話のかけ方
10	就職活動対策②	面接対策①（基本5項目の書き方の説明と作成）
11	就職活動対策③	面接対策②（実践：面接官と受験者を実際に体験してみる）
12	就職活動対策④	グループディスカッション（GD）対策、求人票の見方、今後の就職活動スケジュールの確認など
13	スタログ説明	今年度から導入した就職活動アプリ「スタログ」の使用説明を行う※業者作成の動画
14	期末考査の準備	就職試験でよく聞かれる5項目について考え完成させる
15	期末考査	就職試験基本5項目をそれぞれ指定の字数で書く

☐ 到達目標

就職活動への意識を高め、活動のノウハウを身に付ける。

☐ 成績評価の方法・基準

日頃の授業態度と考査の結果を総合的に評価する。

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	2年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		コンピューター演習Ⅳ		日出間隆樹		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕	単位数	時限×回数	備考	
基本授業		講義・演習	1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

某大学予備校事業部にて、プログラマ・S E (システムエンジニア)。専門学校+大学にて情報処理技術者試験(2種、シスアド、基本情報、I Tパスポート)講座、プログラミング・日本語文書処理・表計算・データベース実習、S P I 講座、毛筆・硬筆書写検定講座、文章表現(オフィス学科進行中)

☐ 授業科目の概要

表計算 E X C E L の機能を習得する。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	E X C E L 応用①	他表から情報を取得する①(V L O O K U P 関数)
2	E X C E L 応用②	他表から情報を取得する②(V L O O K U P 関数・H L O O K U P 関数)
3	E X C E L 応用③	他表から情報を取得する③(エラーを表示させない工夫)
4	E X C E L 応用④	行と列で情報を確定する①(I N D E X 関数)
5	E X C E L 応用⑤	行と列で情報を確定する②(I N D E X 関数)
6	E X C E L 応用⑥	V L O O K U P ・H L O O K U P ・I N D E X の応用
7	E X C E L 応用⑦	文字列関数①(R I G H T ・L E F T ・M I D ・R E P T など)
8	E X C E L 応用⑧	文字列関数②
9	E X C E L 応用⑨	日付・時間に関する関数①(T O D A Y ・D A T E D I F など)
10	E X C E L 応用⑩	日付・時間に関する関数②
11	E X C E L 応用⑪	E X C E L 応用①(ピボットテーブル)
12	E X C E L 応用⑫	E X C E L 応用②(ピボットテーブル・ピボットグラフ)
13	E X C E L 応用⑬	マクロ①
14	E X C E L 応用⑭	マクロ②
15	期末試験	実習形式の期末試験

☐ 到達目標

E X C E L の一般機能の取得

☐ 成績評価の方法・基準

試験80% 課題00% 出席状況・授業態度20%

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	2年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		動物形態機能学Ⅱ-②		樽田侑		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師は現在清州動物病院副院長として臨床現場の最前線で得た知識・技術と国家資格試験経験から看護師として臨床で必要な項目
また、国家試験合格のために習得必須箇所をクローズアップした授業を行う。

☐ 授業科目の概要

犬と猫を中心に、身体を構成する各器官系の形態（解剖）及び機能（生理）を学んでいく。
外皮系、感覚器系、の代謝について学ぶ

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	運動器	頭部の筋肉の形態及び機能
2	外皮系1	表皮の形態及び機能、換毛について
3	外皮系2	皮膚の付属器の形態及び機能
4	外皮系3	熱産生、皮膚感覚について
5	感覚器系1	痛覚について
6	感覚器系2	眼の形態及び機能
7	感覚器系3・中間テスト	耳の形態及び機能 / 中間テスト
8	感覚器系4	鼻と舌の形態及び機能
9	リンパ系	脾臓、胸腺、リンパ節
10	生化学1	物質の輸送、体液について
11	生化学2	ATP産生の生化学
12	生化学3	遺伝子の生化学
13	おさらい	中間テスト等の見直しを通じて、今期のおさらいを行う
14	期末テスト	期末テスト
15	期末テストの解説	期末テストの復習を行う

☐ 到達目標

国家試験で合格点以上とれる学力を身につけること

☐ 成績評価の方法・基準

中間テストと期末考査の合計正答率60%以上で合格
中間テスト：期末考査のウェイトは3：7で実施

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	2年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		比較動物学Ⅱ		田上あす香		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

ペット業界で26年間勤務し、現在では動物病院でトリマー兼愛玩動物看護師としての経験と実績を踏まえ、看護師に必要な項目や国家試験合格に必ず学ばなくてはならない箇所を有資格者の観点から講義を行う。

☐ 授業科目の概要

動物の基本的な取扱いについて理解する。代表的なエキゾチックアニマルの種類と特徴、生態について理解し、看護のポイントについて学ぶ。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	動物の基本的な取扱い	動物の安全な散歩・運動・ふれあいの意義/基本的なグルーミングの目的および方法
2	動物の基本的な取扱い	基本的なグルーミングの目的および方法/適切な飼育環境やストレスの緩和
3	エキゾチックアニマル	エキゾチックアニマルとは/鳥類(飼鳥)について
4	エキゾチックアニマル	鳥類(飼鳥)について
5	エキゾチックアニマル	ウサギについて
6	エキゾチックアニマル	ウサギについて
7	中間テスト エキゾチックアニマル	中間テスト フェレットについて
8	中間テスト解説 エキゾチックアニマル	中間テスト解説 ハムスターについて
9	エキゾチックアニマル	モルモットについて
10	エキゾチックアニマル	デグー・フクロモモンガについて
11	エキゾチックアニマル	チンチラ・ハリネズミについて
12	エキゾチックアニマル	カメについて
13	エキゾチックアニマル	フトアゴヒゲトカゲ・ヒョウモントカゲモドキ・コーンスネークについて
14	期末テスト	期末テスト
15	期末テスト解説	期末テスト解説

☐ 到達目標

動物の基本的な取扱い/代表的なエキゾチックアニマルの種類と特徴、生態、看護のポイントについて学び理解できる。また、動物と愛玩動物看護師の関わりについて理解できる。

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト＋期末考査で正答率60%以上で合格
ウェイト：中間：期末＝30%:70%で算出

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	2年	全専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	動物感染症学Ⅲ		樽田侑		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師は現在清州動物病院副院長として臨床現場の最前線で得た知識・技術と国家資格試験経験から看護師として臨床で必要な項目また、国家試験合格のために習得必須箇所をクローズアップした授業を行う。

☐ 授業科目の概要

免疫系(外部から侵入する病原体に対する防御システム)に関して

免疫担当細胞、免疫不全症、アレルギー、自己免疫疾患及びワクチンについて学ぶ

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	免疫学の基礎と応用	免疫について、免疫担当細胞について：リンパ球・単球
2	免疫学の基礎と応用	免疫担当細胞について：リンパ球・単球、自然免疫と獲得免疫について
3	免疫学の基礎と応用	自然免疫と獲得免疫について、液性免疫と細胞性免疫について
4	小テスト	小テスト
5	免疫学の基礎と応用	免疫不全症について
6	免疫学の基礎と応用	アレルギーについて：Ⅰ型アレルギー/Ⅱ型アレルギーについて
7	中間テスト	中間テスト
8	免疫学の基礎と応用	アレルギーについて：Ⅲ型アレルギー/Ⅳ型アレルギーについて/V型アレルギーについて
9	免疫学の基礎と応用	自己免疫疾患について、ワクチンについて：ワクチンとその原理
10	免疫学の基礎と応用	ワクチンについて：ワクチンの種類
11	免疫学の基礎と応用	ワクチンについて：ワクチンの接種プログラム/猫のワクチン接種部位
12	小テスト	小テスト
13	期末考査前対策	期末考査対策
14	期末考査	期末考査
15	テスト解説	期末考査解説

☐ 到達目標

免疫学の基礎と応用について知識を増やす。

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト+期末考査で正答率60%以上で合格

ウェイト：中間：期末＝30%:70%で算出

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	2年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		公衆衛生学Ⅱ		樋口智香		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

約10年近く動物病院で獣医師として第一線で活躍されていた講師より、国試合格に向けての授業を実施することはもちろん臨床現場での経験をもとに、看護師の心構え、獣医師としての看護師に対する思いなどを授業の際に織り交ぜながら講義を実施。

☐ 授業科目の概要

対面講義型授業にて、公衆衛生の意義を理解し、食品衛生および環境衛生について学ぶ。
授業の最後に授業内容の確認問題を解き、知識の定着を図る。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	食品衛生	食品衛生の定義・食品衛生法・食品添加物
2	食品衛生	食中毒について
3	食品衛生	食中毒各論①
4	食品衛生	食中毒各論②・食品の変質・保存方法について
5	食品衛生	動物性食品の衛生・食品安全行政の動向・食品由来の健康危害防止
6	復習	1～5週までの振り返り
7	中間テスト	1～6週の範囲のテスト
8	中間テスト解説・環境衛生	中間テストの解説・日本の公害
9	環境衛生	地球環境問題・水の衛生・生活環境問題
10	環境衛生	放射線
11	環境衛生	廃棄物問題
12	環境衛生	感染予防策・衛生動物
13	復習	1～12週の振り返り（8～12週中心）
14	期末テスト	1～13週の範囲のテスト
15	期末テスト解説	期末テスト振り返り

☐ 到達目標

公衆衛生の意義を理解し、食品衛生および環境衛生についての国家試験に対応した知識を身に着ける

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト＋期末考査で正答率60%以上で合格
ウェイト：中間：期末＝30%:70%で算出

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	2年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		ペット関連産業概論		樽田侑		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師は現在清州動物病院副院長として臨床現場の最前線で得た知識・技術と国家資格試験経験から看護師として臨床で必要な項目また、国家試験合格のために習得必須箇所をクローズアップした授業を行う。

☐ 授業科目の概要

動物外科看護において創傷・骨折・脱臼管理、手術に関する基礎知識を身につける

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	ペット関連産業における職業倫理	責任と社会的役割について、商取引における関連法規について
2	ペット関連産業における職業倫理	商取引における関連法規について、動物愛護管理法にもとづく事前説明について
3	ペット関連産業における職業倫理	動物愛護管理法にもとづく事前説明について
4	小テスト	第1回～第3回の総復習
5	ペット関連産業における職業倫理	ペットの飼育実態について、ペット関連産業の概要と市場規模について
6	ペット関連産業における職業倫理	ペット産業の分類/動物病院の現状について
7	中間テスト	中間テスト
8	中間テスト解説	中間テスト解説
9	ペット関連産業における職業倫理	動物病院以外のサービス業の現状について/生体販売業の現状について/ペットショップの現状について/その他のペット産業の現状について
10	ペット関連産業における職業倫理	動物取扱業者の概要について、動物取扱業者の規制について（登録制・標識の掲示・対面販売・帳簿作成と所有状況の報告義務）
11	ペット関連産業における職業倫理	動物取扱業者の規制について、動物取扱責任者制度について/責任者に求められる実務的知識について
12	ペット関連産業における職業倫理	動物取扱責任者制度について/動物の飼養又は保管に従事する従業者の員数に関する事項/動物の飼養または保管をする環境の管理に関する事項/動物の疾病等に係る措置に関する事項について、動物の展示・輸送方法に関する事項について/動物の繁殖に関する事項について/動物の愛護および適正な飼養に関する事項について
13	小テスト	動物取扱責任者制度について/動物の飼養又は保管に従事する従業者の員数に関する事項/動物の飼養または保管をする環境の管理に関する事項/動物の疾病等に係る措置に関する事項について、動物の展示・輸送方法に関する事項について/動物の繁殖に関する事項について/動物の愛護および適正な飼養に関する事項について
14	期末考査	期末テスト
15	期末考査解説	期末考査解説

☐ 到達目標

☐ 成績評価の方法・基準

試験00% 課題00% 出席状況・授業態度00%

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	2年	全専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	動物外科看護学Ⅱ		樽田侑		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師は現在清州動物病院副院長として臨床現場の最前線で得た知識・技術と国家資格試験経験から看護師として臨床で必要な項目また、国家試験合格のために習得必須箇所をクローズアップした授業を行う。

☐ 授業科目の概要

動物外科看護において創傷・骨折・脱臼管理、手術に関する基礎知識を身につける

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	第6章術後の管理	術後の動物看護、鎮痛薬の使用
2	第6章術後の管理	術後の包帯法と術創・褥瘡管理、退院時の注意点と飼い主への説明事項
3	第7章	エマージェンシーの原因と病態、心肺蘇生法の準備、手技の概要
4	小テスト	第1回～3回の総復習テスト
5	第8章	化学的保定に使用する薬物、心肺停止やショックの場合に使用する薬物
6	第8章	縫合材料と縫合法
7	中間テスト	縫合材料と縫合法
8	中間テスト解説	中間テスト解説
9	第9章	意識の評価、呼吸のパラメーター、循環のパラメーター
10	第9章	体温の評価、尿産生量の評価
11	第10章	理学療法とは、理学療法の種類と方法
12	第10章	理学療法の種類と方法、理学療法の将来
13	小テスト	第9回～第12回の総復習テスト
14	期末考査	期末テスト
15	期末考査振り返り	期末考査解説

☐ 到達目標

確実な事前準備や知識が必要となる外科手術において
高い意識を持って知識を身につける

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト＋期末考査の正解率60%以上で合格
ウエイト：中間テスト30%：期末考査70%で算出

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	2年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		動物臨床看護学各論Ⅱ		井上健司		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

獣医師及び病院責任者を務める講師より、国家資格試験合格に向け、高出題箇所を中心に講義を実施する

授業科目の概要

臨床看護学各論を教科書に沿って講義を行なう

事前配布、及びクラスルームにアップされた資料をスライド上映しつつ対面での講義を実施

授業の計画

週	項目	授業概要
1	循環器	僧帽弁閉鎖不全症、心筋症、血栓塞栓症、動脈開存症、心中隔欠損症、心室隔欠損症、卵円孔開存症、フィラリア症、横隔膜ヘルニア
2	呼吸器	鼻腔内腫瘍、鼻炎、軟口蓋過長症、短頭種気道症候群、咽頭麻痺、気管虚脱、気管支炎、気管支拡張症、肺炎、肺水腫、猫の上部気道感染症、猫ぜんそく、膿胸
3	口腔内	不正咬合、歯周病、歯瘻、口腔鼻腔瘻、破折、吸収病巣、口内炎、口腔内腫瘍
4	食道	食道炎、食道内異物、食道狭窄、巨大食道症
5	胃・腸	胃拡張、胃炎、胃内容物、胃の腫瘍、幽門狭窄、蛋白質漏出性腸症、炎症性腸疾患、食事反応性下痢、抗菌薬反応性下痢、犬猫バルボ
6	予備	中間テスト対策授業
7	中間テスト	中間テスト
8	腸・肛門	腸重積、腸リンパ管拡張症、腸閉塞、腸捻転、巨大結腸症、会陰ヘルニア、直腸脱
9	肝臓・胆嚢・膵臓	急性肝炎、犬の肝炎・肝硬変、肝腫瘍、肝リビ、門脈シャント、胆石症、胆嚢粘液嚢腫、腹膜炎、膵炎、インスリノーマ、膵外分泌不全
10	腎・泌尿器	AKI、CKD、糸球体疾患、尿路感染、尿路結石症、膀胱炎、FLUTD、尿路閉塞、レプトスピラ
11	内分泌	甲状腺機能低下症・亢進症、クッシング、アジソン、糖尿病、尿崩症
12	生殖器	半陰陽、潜在精巣、前立腺疾患、精巣腫瘍、乳腺腫瘍、卵巣腫瘍、子宮蓄膿症、膣脱、偽妊娠、乳房炎、難産、犬ブルセラ
13	予備	期末考查対策授業
14	期末考查	期末考查
15	総まとめ	期末考查総復習

到達目標

疾患の徴候・処置治療に関する知識・罹患動物の評価と看護の方法について学ぶ

成績評価の方法・基準

中間テスト＋期末考查で正答率60%以上で合格
ウェイト：中間：期末＝30％：70％で算出

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	2年	全専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	動物内科看護学実習Ⅳ			望月章史	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	実験・実習・実技			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

□ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

動物看護師として25年以上のキャリアがあり、現在はVCAjapan合同会社王禅寺ペットクリニック看護部マネージャーとして活躍されている講師より、動物看護の手技だけでなく、心構えや臨床での事例などを織り交ぜて、国試合格を目指し授業を実施

□ 授業科目の概要

小動物臨床の現場に必要な「診察補助と身体検査」「動物看護技術の実践と応用」「超音波検査」「皮膚科検査」「眼科検査」「神経学的検査」についての知識と技術を身に付けられるように、座学と実習形式で授業を行う。

□ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	第8節 超音波検査	テキスト第8節「超音波検査」についての座学
2	第8節 超音波検査	テキスト第8節「超音波検査」についての座学・実習
3	第10節 皮膚検査と耳検査	テキスト第10節「皮膚検査と耳検査」についての座学
4	第5節 動物看護技術の実践と応用	テキスト第5節 動物看護技術の実践と応用「外耳処置時の補助」「エリザベスカラーの装着」についての座学・実習
5	第12節 眼科検査	テキスト第12節「眼科検査」についての座学
6	第11節 神経学的検査	テキスト第11節「神経学的検査」についての座学
7	中間考査	実習テスト＋筆記テスト
8	中間考査解説	テスト内容の振り返りと解説
9	第11・12節 眼科検査・神経学的検査	テキスト第11・12節「眼科検査」「神経学的検査」についての座学・実習
10	第5節 動物看護技術の実践と応用	テキスト第5節「6 腹帯の装着・7 創傷管理」についての座学・実習
11	第5節 動物看護技術の実践と応用	テキスト第5節「8 電法・9 吸引法」についての座学
12	第1節 診察補助と身体検査：第5節 動物看護技術の実践と応用	テキスト第1・5節「身体検査・採血補助・外耳処置・投薬方法」についての座学・実習
13	後期授業の振り返り	後期授業内容 全体の振り返り
14	期末考査	筆記テスト
15	期末考査解説	テスト内容の振り返りと解説

□ 到達目標

内科看護学に必要な知識・技術の習得と国家試験攻略のスキル習得

□ 成績評価の方法・基準

中間考査（実習＋筆記）30％ 期末考査（筆記）70％

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	2年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		ナースブリッジカリキュラムⅢ		大海麻美		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕	単位数	時限×回数	備考	
基本授業		実験・実習・実技	1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

愛玩動物看護師として20年臨床の最前線で経験している知識また、国家資格試験を熟知した講師が講義を実施する。

☐ 授業科目の概要

実際の臨床現場で看護師に最低限求められる手技について集中的に学び、動物病院実習に安心して参加できるようにする。
実習時に病院で行われている業務を理解できる、または体験させていただき、課題を見つけることが出来るようになる。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	グループワーク	盲目の動物に対するケア
2	眼科検査と耳垢検査について	眼科検査と耳垢検査について
3	眼科検査	自身で眼科検査を体験してみる
4	耳垢検査	耳垢検査 手技
5	耳垢検査	耳垢検査 手技 復習
6	検査	神経学的検査
7	検査	神経学的検査
8	採血練習	採血キットを使用した練習
9	採血練習	採血キットを使用した練習
10	CPR	緊急時の対応とCPR実習
11	採血練習	採血キットを使用した練習
12	採血練習	採血キットを使用した練習
13	テスト前	テスト事前復習
14	期末考査	期末考査
15	解説	期末考査解説

☐ 到達目標

臨床現場で必要な知識と技術を身に着け、
病院実習での不安や心配を自信に繋げる。

☐ 成績評価の方法・基準

試験80% 出席状況・授業態度20%

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	2年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		国家試験対策講座③		大海麻美		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

愛玩動物看護師として20年臨床の最前線で経験している知識また、国家資格試験を熟知した講師が講義を実施する。

☐ 授業科目の概要

国家試験合格のために演習問題を解き、解説をすることにより理解を深め復習にも役立てる。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	形態機能学	講師の私用問題や国家資格試験に出題率が高い問題を出題・解説を織り交ぜた授業
2	形態機能学	講師の私用問題や国家資格試験に出題率が高い問題を出題・解説を織り交ぜた授業
3	形態機能学	講師の私用問題や国家資格試験に出題率が高い問題を出題・解説を織り交ぜた授業
4		講師の私用問題や国家資格試験に出題率が高い問題を出題・解説を織り交ぜた授業
5		講師の私用問題や国家資格試験に出題率が高い問題を出題・解説を織り交ぜた授業
6		講師の私用問題や国家資格試験に出題率が高い問題を出題・解説を織り交ぜた授業
7	中間テスト	第1回～第6回の最重要箇所での中間テスト実施
8		中間テスト解説
9		講師の私用問題や国家資格試験に出題率が高い問題を出題・解説を織り交ぜた授業
10		講師の私用問題や国家資格試験に出題率が高い問題を出題・解説を織り交ぜた授業
11		講師の私用問題や国家資格試験に出題率が高い問題を出題・解説を織り交ぜた授業
12		講師の私用問題や国家資格試験に出題率が高い問題を出題・解説を織り交ぜた授業
13		講師の私用問題や国家資格試験に出題率が高い問題を出題・解説を織り交ぜた授業
14	期末考查	期末考查
15	期末考查解説	期末考查解説

☐ 到達目標

3年に向けて基礎の復習を徹底する。

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト30% 期末考查70%

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	2年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		トレーニング実習Ⅱ		宮崎麗奈・齊藤惇		
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		実験・実習・実技		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

☐ 授業科目の概要

犬への指示をよりわかりやすく出す。
表現力を高め、犬に理解してもらう。看護師として必要な犬のコントロールを取得。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	実習	基本動作の確認、C級ライセンスの動き確認
2	実習	散歩についての授業、基本動作
3	実習	基本動作の徹底①
4	実習	基本動作の徹底②
5	実習	アジリティを総合的に使用①
6	実習	アジリティを総合的に使用②
7	実習	C級ライセンス練習
8	実習	指示のレベルアップ
9	実習	指示のレベルアップー犬による指示の違いを意識
10	実習	C級ライセンス練習
11	実習	C級ライセンス練習 苦手箇所修正
12	実習	ノーリードを意識したトレーニング
13	実習	担当制とし1頭のトレーニングを追求①
14	実習	担当制とし1頭のトレーニングを追求②
15	期末考査	後期考査

☐ 到達目標

正確な指示の出し方を理解し、実践できるようにする
安全な歩行、犬をしっかりとコントロールする

☐ 成績評価の方法・基準

出席率・授業態度 60%
期末考査 40%

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	2年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		愛玩動物学Ⅱ		金田千佳		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

愛玩動物看護師として現在も臨床の最前線で経験している知識また、国家資格試験を熟知した講師が講義を実施する。

☐ 授業科目の概要

動物の基本的な取扱いについて理解する。代表的なエキゾチックアニマルの種類と特徴、生態について理解し、看護のポイントについて学ぶ。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	動物の基本的な取扱い	動物の安全な散歩・運動・ふれあいの意義/基本的なグルーミングの目的および方法
2	動物の基本的な取扱い	基本的なグルーミングの目的および方法/適切な飼育環境やストレスの緩和
3	エキゾチックアニマル	エキゾチックアニマルとは/鳥類(飼鳥)について
4	エキゾチックアニマル	鳥類(飼鳥)について
5	エキゾチックアニマル	ウサギについて
6	エキゾチックアニマル	ウサギについて
7	中間テスト エキゾチックアニマル	中間テスト フェレットについて
8	中間テスト解説 エキゾチックアニマル	中間テスト解説 ハムスターについて
9	エキゾチックアニマル	モルモットについて
10	エキゾチックアニマル	デグー・フクロモモンガについて
11	エキゾチックアニマル	チンチラ・ハリネズミについて
12	エキゾチックアニマル	カメについて
13	エキゾチックアニマル	フトアゴヒゲトカゲ・ヒョウモントカゲモドキ・コーンスネークについて
14	期末テスト	期末テスト
15	期末テスト解説	期末テスト解説

☐ 到達目標

中間テスト＋期末考査で正答率60%以上で合格

☐ 成績評価の方法・基準

中間・期末考査の正答率合計60%以上で合格
ウェイト：中間：期末＝30%:70%で算出

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	3年	全専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	国家試験対策講座5			大海麻美	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

愛玩動物看護師として20年臨床の最前線で経験している知識また、国家資格試験を熟知した講師が講義を実施する。

☐ 授業科目の概要

国家試験合格のために演習問題を解き、解説をすることにより理解を深め復習にも役立てる。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
2	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
3	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
4	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
5	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
6	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
7	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
8	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
9	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
10	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
11	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
12	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
13	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
14	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
15	期末考査	期末考査

☐ 到達目標

国家試験合格

☐ 成績評価の方法・基準

期末考査のみ 正答率60%で合格とする

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	3年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		ビジネスコミュニケーションⅤ		キャリアサポートセンター		
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

☐ 授業科目の概要

1年後期からの準備を踏まえて、実際に就職活動を行っていく。学生一人一人が現在の自分の就職活動状況に合わせ活動を行い、個別の面談も並行して行っていく。時には企業を呼び説明会を行うなど、就職決定に向けた実践的な授業を行う。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的に行っていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
2	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的に行っていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
3	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的に行っていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
4	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的に行っていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
5	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的に行っていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
6	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的に行っていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
7	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的に行っていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
8	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的に行っていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
9	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的に行っていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
10	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的に行っていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
11	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的に行っていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
12	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的に行っていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
13	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的に行っていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
14	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的に行っていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
15	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的に行っていく。企業に来ていただき説明をしていただく。

☐ 到達目標

就職決定を到達目標とする

☐ 成績評価の方法・基準

出席状況・授業態度100%

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	3年	全専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	国家試験対策講座6			樋口智香	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

約10年近く動物病院で獣医師として第一線で活躍されていた講師より、国試合格に向けての授業を実施することはもちろん

臨床現場での経験をもとに、看護師の心構え、獣医師としての看護師に対する思いなどを授業の際に織り交ぜながら講義を実施。

☐ 授業科目の概要

対面講義型授業にて、愛玩動物看護師国家試験に合格するための対策を行う。

国家試験の頻出箇所の問題演習を行い、知識の確認および定着を図る。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	問題演習	公衆衛生学／形態機能学分野を中心とした頻出問題の解説
2	問題演習	公衆衛生学／形態機能学分野を中心とした頻出問題の解説
3	問題演習	公衆衛生学／形態機能学分野を中心とした頻出問題の解説
4	問題演習	公衆衛生学／動物病理学分野を中心とした頻出問題の解説
5	問題演習	公衆衛生学／動物病理学分野を中心とした頻出問題の解説
6	問題演習	公衆衛生学／動物薬理学分野を中心とした頻出問題の解説
7	問題演習	公衆衛生学／動物薬理学分野を中心とした頻出問題の解説
8	問題演習	動物感染症学／臨床検査学分野を中心とした頻出問題の解説
9	問題演習	動物感染症学／臨床検査学分野を中心とした頻出問題の解説
10	問題演習	動物感染症学／内科看護学分野を中心とした頻出問題の解説
11	問題演習	動物感染症学／内科看護学分野を中心とした頻出問題の解説
12	問題演習	動物感染症学／外科看護学分野を中心とした頻出問題の解説
13	問題演習	動物感染症学／臨床看護学分野を中心とした頻出問題の解説
14	問題演習	動物感染症学／臨床看護学分野を中心とした頻出問題の解説
15	期末考査	期末テスト

☐ 到達目標

国家試験頻出内容の知識の確認および習得

☐ 成績評価の方法・基準

期末考査で評価

期末考査正答率60%以上で合格

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	3年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		動物繁殖学		樽田侑		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師は現在清州動物病院副院長として臨床現場の最前線で得た知識・技術と国家資格試験経験から看護師として臨床で必要な項目
また、国家試験合格のために習得必須箇所をクローズアップした授業を行う。

☐ 授業科目の概要

繁殖に関わる形態と機能を学び、妊娠・分娩と新生子管理、遺伝学の基礎知識を修得する。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	生殖器の形態と機能	生殖器の構成について/雄の生殖器について/雌の生殖器について
2	生殖器の形態と機能/発情周期と交配	精子と卵子の形成について/性成熟について/発情周期と発情徴候について
3	発情期と交配/妊娠と分娩について	交配について/着床・妊娠について/妊娠期
4	小テスト	
5	妊娠と分娩について	分娩と助産について/不妊手術
6	妊娠と分娩について/新生子管理	人工授精について/新生子について/新生子の解剖学的特徴について/新生子の生理機能について
7	中間テスト	
8	中間テスト解説	
9	新生子管理	新生子の発育過程について/新生子における初乳の必要性について/母親のいる新生子の管理方法について
10	新生子管理	母親のいない新生子の管理方法について/新生子の全身状態の検査方法について/新生子におこりやすい疾患について
11	遺伝学概論	遺伝の基礎知識について/繁殖にあたって/新生子の発生異常と遺伝性疾患について
12	遺伝学概論	繁殖について/新生子の発生異常と遺伝性疾患について
13	小テスト	
14	期末考査	
15	期末考査解説	

☐ 到達目標

動物の体の構造と機能を理解する
妊娠、分娩と新生子管理、遺伝学の基礎知識を習得する

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト＋期末考査で正答率60%以上で合格
ウェイト：中間：期末＝30%:70%で算出

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	3年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		動物臨床看護学実習Ⅰ		金田千佳		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

愛玩動物看護師として現在も臨床の最前線で経験している知識また、国家資格試験を熟知した講師が講義を実施する。

☐ 授業科目の概要

実際に動物病院で働いた際に入院動物のどこを見なければいけないのかを明確にし、実戦で使えるように知識を増やす。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	6章痛みの評価	1 痛みの種類、2 痛みの程度の分類
2	6章痛みの評価	3 痛みによる生理的变化 4 痛みによる行動学的変化 できれば学内犬参加希望です
3	6章痛みの評価	痛みの看護法
4	4章褥瘡管理	褥瘡とは
5	4章褥瘡管理	褥瘡のおこりやすい部位 褥瘡のメカニズム
6	4章褥瘡管理	褥瘡ケア
7	中間テスト	
8	5章栄養管理	犬と猫の必要栄養素
9	5章栄養管理	ペットフードの種類 給餌回数と量
10	5章栄養管理	嗜好性と給与方法
11	5章栄養管理	栄養管理法
12	5章栄養管理	ライフステージ別の栄養管理
13	期末テスト対策	
14	期末テスト	
15	期末テスト返却	

☐ 到達目標

入院看護とは何かを正しく理解する

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト30%＋期末テスト70%

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	3年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		動物愛護・適正飼養実習Ⅰ		金田千佳		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

愛玩動物看護師として現在も臨床の最前線で経験している知識また、国家資格試験を熟知した講師が講義を実施する。

☐ 授業科目の概要

動物の飼育管理に関する基本的な取り扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、学んだ知識の実践力を習得する。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	第1節 愛玩動物の特徴と基本的な取り扱い	犬の飼育管理 品種による身体の特徴 ケージの衛生管理
2	第1節 愛玩動物の特徴と基本的な取り扱い	猫の飼育管理 品種による身体の特徴 ケージの衛生管理
3	第1節 愛玩動物の特徴と基本的な取り扱い	愛玩鳥の飼育管理 品種による身体の特徴 ケージの衛生管理口
4	第2節 エキゾチックアニマルの特徴と基本的な取り扱い	ウサギについて
5	第2節 エキゾチックアニマルの特徴と基本的な取り扱い	ハムスターについて
6	第2節 エキゾチックアニマルの特徴と基本的な取り扱い	フェレットについて
7	中間テスト	
8	中間テスト返し	
9	第4節 グルーミング	グルーミングについて 学内犬の参加希望です
10	第5節 口腔内栄養管理	口腔内の構造
11	第5節 口腔内栄養管理	口腔内の疾病
12	第5節 口腔内栄養管理	歯周病の予防 学内犬参加希望です
13	期末テスト対策	
14	期末テスト	
15	期末テスト返却	

☐ 到達目標

犬猫だけでなく、エキゾチックアニマルの生体についてもしっかり学ぶ

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト＋期末考査で正答率60%以上で合格
ウェイト：中間：期末＝30%:70%で算出

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	3年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		動物内科看護学Ⅲ		樽田侑		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕	単位数	時限×回数	備考	
基本授業		実験・実習・実技	1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師は現在清州動物病院副院長として臨床現場の最前線で得た知識・技術と国家資格試験経験から看護師として臨床に必要な項目
また、国家試験合格のために習得必須箇所をクローズアップした授業を行う。

☐ 授業科目の概要

動物内科診療で必須となる知識(動物の一般的特徴,検査,投薬法など)・技術(保定,採血など)を深め、
現場で活かせるかつ国家試験合格へ向けた学習をする

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	第11章内視鏡検査	超音波に関する知識
2	第11章内視鏡検査	内視鏡に関する知識/消化器内視鏡の予備知識
3	第12章各器官系の検査	検査手順/検査後の片付け
4	第12章各器官系の検査	循環器系呼吸器系の検査
5	第12章各器官系の検査	各器官系の評価、子犬子猫の全身評価
6	第12章各器官系の検査	口腔系の検査/消化器系の検査
7	中間テスト	第1回～第6回の最重要箇所での中間テスト実施
8		中間テスト解説
9	第12章各器官系の検査	腎泌尿器系の検査/内分泌系の検査
10	第12章各器官系の検査	生殖器系の検査
11	第12章各器官系の検査	運動器系の検査/神経学的検査
12	第12章各器官系の検査	目の検査/皮膚と耳の検査
13	第12章各器官系の検査	アレルギー・免疫系の検査/血液・造血器系の検査
14	期末考査	期末テスト
15	期末考査解説	期末考査解説

☐ 到達目標

動物看護師として動物病院で働く自覚を持つ

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト＋期末考査で正答率60%以上で合格
ウェイト：中間：期末＝30%:70%で算出

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	3年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		動物臨床看護学各論Ⅲ		井上健司		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		実験・実習・実技		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

獣医師及び病院責任者を務める講師より、国家資格試験合格に向け、高出題箇所を中心に講義を実施する

☐ 授業科目の概要

さまざまな疾患の病態生理を理解し、それによつて引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	オリエンテーション	整形外科疾患
2	整形外科疾患	整形外科疾患
3	神経疾患	神経疾患
4	眼疾患	眼疾患
5	皮膚疾患	皮膚疾患
6	皮膚疾患	皮膚疾患
7	中間テスト	第1回～第6回の最重要箇所での中間テスト実施
8	第1回～第6回の最重要箇所での中間テスト実施アレルギー・免疫介在性疾患	中間テスト解説
9	血液・造血器系疾患	アレルギー・免疫介在性疾患
10	中毒 誤飲誤食 交通事故 外傷	血液・造血器系疾患
11	熱中症 熱傷 溺水 感電	中毒 誤飲誤食 交通事故 外傷
12	眼科疾患 循環器疾患 内分泌疾患 神経疾患	熱中症 熱傷 溺水 感電
13	呼吸困難 ショック アナフィラキシー	眼科疾患 循環器疾患 内分泌疾患 神経疾患
14	期末対策 予備	期末対策 予備
15	期末考査	期末考査

☐ 到達目標

各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供するか
評価と介入の方法について理解する。

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト＋期末考査で正答率60%以上で合格
ウェイト：中間：期末＝30%:70%で算出

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	3年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		動物臨床検査学実習Ⅱ		大海麻美		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕	単位数	時限×回数	備考	
基本授業		実験・実習・実技	1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

愛玩動物看護師として20年臨床の最前線で経験している知識また、国家資格試験を熟知した講師が講義を実施する。

☐ 授業科目の概要

実際の臨床現場で看護師に最低限求められる手技について集中的に学び、検査を行うことができる

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	臨床検査学とは	臨床検査学の定義、臨床現場での愛玩看護師の役割
2	尿検査	尿検査の意味、手技、検査項目
3	尿検査	尿検査の意味、手技、検査項目、尿検査の実技
4	尿検査	尿検査の実技
5	糞便検査	糞便検査の意味、手技、検査項目
6	糞便検査	糞便検査の意味、手技、検査項目
7	中間テスト	第1回～第6回の最重要箇所での中間テスト実施
8		中間テスト解説
9	糞便検査	糞便検査の実技
10	血液検査	血液検査の復習：検査学実習Ⅰの復習を兼ねて
11	復習	糞便検査/尿検査の実技の復習
12	その他の検査	その他の検査について
13	その他の検査	その他の検査について
14	期末考査	期末考査
15	期末考査解説	期末考査解説

☐ 到達目標

臨床現場で実施される検査を理解し、正しい手技で検査結果を出すことができる。

☐ 成績評価の方法・基準

中間（筆記/実技）40％ 期末60％

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	3年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		動物外科看護学実習Ⅱ		大海麻美		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕	単位数	時限×回数	備考	
基本授業		実験・実習・実技	1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

愛玩動物看護師として20年臨床の最前線で経験している知識また、国家資格試験を熟知した講師が講義を実施する。

☐ 授業科目の概要

手術看護の基礎として、術前準備から術中の基本的補助までの一連の流れを実習形式で学ぶ。
無菌操作、手術器具の取り扱い、術野管理などを中心に、安全かつ適切な外科看護技術を習得する。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	オリエンテーション／外科看護の役割	手術室の流れと看護師の役割を理解し、実習における基本的なルールや安全管理について学ぶ。また、手術室内での基本的な動き方を確認する。
2	手術室の環境管理＋リネン基礎	手術室のゾーニングや感染管理の基本を理解するとともに、リネンの取り扱いや基本的な畳み方について実技を通して習得する。
3	無菌操作①（基礎）	無菌の概念や汚染の考え方を理解し、無菌的にリネンを展開・保持する方法を実践的に学ぶ。
4	無菌操作②（実践）	滅菌物の正しい開封方法と取り扱いを理解し、無菌操作の基本手技を個別に確認しながら習得する。
5	サージカルスクラブ＋消毒①	手術時手洗いの理論と手順を理解し、実技を通して確実に実施できるようにする。また、消毒の基礎知識について学ぶ。
6	ガウンテクニック＋消毒②（術野作成）	ガウンテクニックおよびグローブ装着法を習得するとともに、術野消毒の手順を理解し、モデルを用いた実技で一連の流れを確認する。
7	中間考査	中間考査
8	中間考査解説＋補講	中間考査の解説を行い、理解が不十分であった無菌操作や消毒、リネン操作について再度実技を行いながら定着を図る
9	手術器具①（基礎）	手術器具の名称や用途について理解し、実際に器具を用いて基本的な持ち方や取り扱いを習得する。
10	手術器具②（実践）	器具の受け渡しや器械出しの基本動作を理解し、実技を通して円滑な手術補助が行えるよう練習する。
11	術前準備①	術前評価の流れを理解し、安全な保定方法について実技を通して習得する。
12	術前準備②	剃毛、消毒、ドレーピングといった術野作成の一連の流れを理解し、通して実施することで実践力を高める。
13	術中看護基礎	術中看護における役割を理解し、術前準備から術中の基本動作までを含めたロールプレイを行い、実践的な動きを確認する。
14	期末考査	期末考査
15	期末考査解説	期末考査解説

☐ 到達目標

外科看護の基本手順と無菌操作を理解し実践できる
手術器具や役割を理解し、術中補助の基礎行動ができる

☐ 成績評価の方法・基準

中間30% 期末70%

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	3年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		グルーミング実習Ⅰ		伊藤玲華・小室千紘		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		実験・実習・実技		2	4×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師小室はトリマーとして、イオンペットに3年とGrunewaldで9年従事している。トリマーとしての経験をもとに授業をおこなう。

☐ 授業科目の概要

グルーミングの基本を実習形式で習得する。

主にペISING(シャンプー、ブロー、爪切り、足裏の毛の処理)と安全な保定技術を学ぶ。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	講義	道具説明
2	講義	グルーミングの意味と意義 トリミングとは 人形の組み立て スリッカーの使い方
3	講義	シャンプー講義
4	人形シャンプー①	人形を使つてのペISING
5	人形シャンプー②	人形を使つてのペISING
6	実習	モデル犬でのシャンプー実習
7	実習	人形カット カット前処理(顔・四肢・尾)
8	実習	モデル犬でのシャンプー実習
9	実習	人形カット カット(肢まわり・後軀)
10	実習	モデル犬でのシャンプー実習
11	実習	人形カット カット(肢まわり・後軀)
12	実習	モデル犬でのシャンプー実習
13	実習	人形カット カット(後軀～中軀)
14	実習	モデル犬でのシャンプー実習
15	期末考査	期末考査 / 人形カット カット(後軀～中軀)

☐ 到達目標

ペISINGの基本を理解する

犬体モデルでラムクリップの基本を学ぶ

☐ 成績評価の方法・基準

出席状況・授業態度100%

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	3年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		国家試験対策講座7		金田千佳		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕	単位数	時限×回数	備考	
基本授業		実験・実習・実技	1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

愛玩動物看護師として現在も臨床の最前線で経験している知識また、国家資格試験を熟知した講師が講義を実施する。

☐ 授業科目の概要

国家試験に合格できるように知識を詰め込む

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	国試対策	過去問を解く
2	国試対策	過去問を解く
3	国試対策	過去問を解く
4	国試対策	過去問を解く
5	国試対策	過去問を解く
6	国試対策	過去問を解く
7	国試対策	過去問を解く
8	国試対策	過去問を解く
9	国試対策	過去問を解く
10	国試対策	過去問を解く
11	国試対策	過去問を解く
12	国試対策	過去問を解く
13	期末テスト対策	
14	期末テスト	
15	期末テスト返却	

☐ 到達目標

1つでも多く、問題を解いて答えを導き出せるようにする

☐ 成績評価の方法・基準

期末テスト100%
期末考査で60%以上の正答率で合格

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	3年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		国家試験対策講座8		樽田侑		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕	単位数	時限×回数	備考	
基本授業		実験・実習・実技	1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師は現在清州動物病院副院長として臨床現場の最前線で得た知識・技術と国家資格試験経験から看護師として臨床で必要な項目
また、国家試験合格のために習得必須箇所をクローズアップした授業を行う。

☐ 授業科目の概要

国家試験に合格できるように知識を詰め込む

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
2	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
3	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
4	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
5	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
6	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
7	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
8	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
9	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
10	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
11	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
12	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
13	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
14	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
15	期末考查	期末考查

☐ 到達目標

1つでも多く、問題を解いて答えを導き出せるようにする

☐ 成績評価の方法・基準

期末考查正答率60%以上で合格とする

2026年度	前期	愛玩動物看護学科	3年	全専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	適正飼養指導論Ⅰ		亀子美穂		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師はエンゼル動物病院看護師長であり、動物看護師歴9年以上のキャリアと愛玩動物看護師国家資格取得者の経験と実績を踏まえ、動物看護師として必要な項目と国家資格試験合格に向け高出題箇所の講義を行う。

☐ 授業科目の概要

愛玩動物の適正飼養に関する基本的知識を学び、飼い主に対して適切な指導・助言を行うための基礎を身につける。
動物福祉や生活環境、問題行動の予防、関連法規について理解を深める。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	愛玩動物の飼養	人と動物の関係
2	愛玩動物の飼養	愛玩動物の適正飼養の目的と概念
3	愛玩動物の飼養	動物愛護管理法と動物福祉
4	愛玩動物の飼養	愛玩動物飼養による恩恵と問題点
5	愛玩動物の飼養	ペットロス
6	愛玩動物の飼養	グリーフケア
7	中間テスト	第1回～第6回の最重要箇所での中間テスト実施
8	中間テスト解説	中間テスト解説
9	適正飼養の推進	適正飼養の推進
10	適正飼養の推進	動物取扱業者における適正飼養
11	適正飼養の推進	動物取扱業者における飼育管理基準
12	適正飼養の推進	過剰繁殖の問題点と対策
13	適正飼養の推進	問題行動予防のための適切な飼育方法
14	試験	
15	試験解説	

☐ 到達目標

愛玩動物の適正飼養に必要な基本的知識を理解し、
実践に結びつけて考えることができる。

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト30%＋期末テスト70%

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	3年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		国家試験対策講座9		樋口智香		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

約10年近く動物病院で獣医師として第一線で活躍されていた講師より、国試合格に向けての授業を実施することはもちろん
臨床現場での経験をもとに、看護師の心構え、獣医師としての看護師に対する思いなどを授業の際に織り交ぜながら講義を実施。

☐ 授業科目の概要

対面講義型授業にて、愛玩動物看護師国家試験に合格するための対策を行う。
国家試験の頻出箇所の問題演習を行い、知識の確認および定着を図る。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	問題演習	国家試験頻出問題の解説
2	問題演習	国家試験頻出問題の解説
3	問題演習	国家試験頻出問題の解説
4	問題演習	国家試験頻出問題の解説
5	問題演習	国家試験頻出問題の解説
6	問題演習	国家試験頻出問題の解説
7	問題演習	国家試験頻出問題の解説
8	問題演習	国家試験頻出問題の解説
9	問題演習	国家試験頻出問題の解説
10	問題演習	国家試験頻出問題の解説
11	問題演習	国家試験頻出問題の解説
12	問題演習	国家試験頻出問題の解説
13	問題演習	国家試験頻出問題の解説
14	問題演習	国家試験頻出問題の解説
15	期末考査	期末テスト

☐ 到達目標

国家試験頻出内容の知識の確認および習得

☐ 成績評価の方法・基準

期末考査で評価
期末考査正答率60%以上で合格

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	3年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		国家試験対策講座10		大海麻美		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

愛玩動物看護師として20年臨床の最前線で経験している知識また、国家資格試験を熟知した講師が講義を実施する。

☐ 授業科目の概要

愛玩動物看護師国家試験に合格するための対策を行う。

国家試験の予想問題に取り組むことで、正答にたどりつくまでに必要な知識と考え方を学ぶ。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
2	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
3	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
4	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
5	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
6	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
7	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
8	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
9	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
10	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
11	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
12	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
13	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
14	問題演習	愛玩動物看護師国家試験の問題集の解説
15	期末考査	期末考査（今までの総問題を出题予定）

☐ 到達目標

国家試験頻出内容の知識の確認および習得

☐ 成績評価の方法・基準

期末考査で評価

期末考査正答率60%以上で合格

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	3年	xx専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	国家試験対策講座11			安部満里菜	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

愛玩動物看護師として株式会社新日本科学では実験動物管理部、薬理研究部で経験を積み、その後動物病院でも勤務経験をもとに国家試験合格、愛玩動物看護師として必須知識を授業を介し学生へ伝えていく。

☐ 授業科目の概要

対面講義型授業にて、愛玩動物看護師国家試験に合格するための対策を行う。

国家試験の頻出箇所の問題演習を行い、知識の確認および定着を図る。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	問題演習	国家試験頻出問題の解説
2	問題演習	国家試験頻出問題の解説
3	問題演習	国家試験頻出問題の解説
4	問題演習	国家試験頻出問題の解説
5	問題演習	国家試験頻出問題の解説
6	問題演習	国家試験頻出問題の解説
7	問題演習	国家試験頻出問題の解説
8	問題演習	国家試験頻出問題の解説
9	問題演習	国家試験頻出問題の解説
10	問題演習	国家試験頻出問題の解説
11	問題演習	国家試験頻出問題の解説
12	問題演習	国家試験頻出問題の解説
13	問題演習	国家試験頻出問題の解説
14	問題演習	国家試験頻出問題の解説
15	期末考査	期末テスト

☐ 到達目標

国家試験頻出内容の知識の確認および習得

☐ 成績評価の方法・基準

期末テスト100%

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	3年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		動物愛護・適正飼養関連法規/動物看護関連法規		柳田洋		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

動物病院の開業医の経験及び行政書士の観点から、法律についての講義を行う。

☐ 授業科目の概要

動物看護関連法規や動物看護適性飼養関連法規について、教室にて対面で講義を行う。

人と動物が共存する為の動物愛護・飼養の重要性を法律面から理解する。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	法学総論	法律の意義と特質/成文法と不文法/法の解釈/コンプライアンスとアカウンタビリティ/法律と動物
2	公衆衛生行政法規	感染症予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症予防法）について
3	公衆衛生行政法規	狂犬病予防法/家畜伝染病予防法について
4	獣医療関連行政法規	獣医師法/獣医師療法について
5	愛玩動物看護師法	動物医療と愛玩動物看護師について
6	薬事行政法規	薬機法について/麻薬取締法について/毒劇物取締法について/覚醒剤取締法について/薬剤師法について
7	中間テスト	第1回～第6回の最重要箇所での中間テスト実施
8	中間テスト解説＋動物愛護・適正飼養関連法規	中間テスト解説＋愛護・適正飼養の基本となる概念 動物の愛護と管理について/愛玩動物看護師と動物の適正飼養について
9	愛護・適正飼養関連行政法規	動物の愛護及び管理に関する法律（動物愛護管理法）について/愛玩動物用飼料の安全性の確保に関する法律（ペットフード安全法）について
10	社会福祉行政・環境衛生法規	身体障害者補助犬法について/廃棄物処理法/化学場等に関する法律について
11	野生動物などに関する法律および条約	生物多様性について/外来生物法について
12	野生動物などに関する法律および条約	ワシントン条約について/種の保存法について/鳥獣保護法について
13	野生動物などに関する法律および条約	ラムサール条約について/自然公園法について/文化財保護法について
14	期末考査	第8回～第13回の重要箇所での期末テスト実施
15	期末考査解説	期末考査解説＋補足授業

☐ 到達目標

動物に関連する法律の包括的な理解
及び事例を通じての法令遵守精神の理解

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト＋期末考査の正解率60%以上で合格

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	3年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		動物臨床看護学実習Ⅱ		金田千佳		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕	単位数	時限×回数	備考	
基本授業		講義・演習	1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

愛玩動物看護師として現在も臨床の最前線で経験している知識また、国家資格試験を熟知した講師が講義を実施する。

☐ 授業科目の概要

本授業では、臨床現場における動物看護師の基本的役割を理解し、看護過程に基づく思考力と記録技術を身につけることを目的とする。座学形式での症例検討や記録演習を通して、臨床現場で活用できる知識と判断力を養う。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	動物看護記録①	看護記録の目的、法的意義、SORP方式の意義
2	動物看護記録②	模擬症例を使った主観・客観データの書き分け
3	看護過程の理解と問題抽出	アセスメント・問題リスト作成・看護過程の流れ
4	看護計画の立案と評価	看護目標・介入計画・評価方法を学ぶ
5	エラー防止とリスクマネジメント	記録ミス・指示誤りなどの事例分析、安全管理の考え方
6	症例アセスメント演習	模擬症例を用いて看護過程を立て、記録に繋げる演習
7	中間テスト	
8	動物の栄養の基礎	栄養素の分水・エネルギー要求量・栄養バランス
9	食事評価と体格スコア	BCS/MCSの見方、栄養アセスメントの実際
10	疾患別栄養管理	腎疾患・肥満・消化器疾患などの栄養管理
11	チーム医療と看護の連携	報告・連絡・相談の重要性、情報共有の方法
12	総合演習	ケースを通して看護・栄養の両面から考える
13	まとめ	学びの整理と臨床応用への準備
14	期末考査	期末考査
15	期末考査返却・解説	期末考査解説

☐ 到達目標

動物看護記録・看護記録・栄養管理について理解を深め、状況に応じた安全で適切な看護を実践できる力を身につける。

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト＋期末考査で正答率60%以上で合格
ウェイト：中間：期末＝30%:70%で算出

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	3年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		動物愛護・適正飼養実習Ⅱ		大海麻美		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

動物愛護管理法に基づく行政の役割と適正飼養の意義を理解し、予防医療の要となる口腔衛生管理の実技を習得する。
あわせて、飼い主との信頼関係を築き、適切な指導を行うための対人コミュニケーション技術を養成する。

☐ 授業科目の概要

講義、グループワーク、ロールプレイを組み合わせる。実際の動物病院を想定したケーススタディを取り入れる。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	導入・動物愛護管理法①	実習の進め方と評価基準。動物愛護管理法の基本理念と歴史的背景。
2	動物愛護管理法②	業としての規制、飼い主の責任（終生飼養）、虐待防止と法的罰則。
3	行政の役割と実務	自治体動物愛護センターの業務、殺処分ゼロへの取り組みと譲渡活動。
4	口腔内衛生管理①：基礎	正常な口腔構造と歯周病の進行メカニズム。口腔内チェック法。
5	口腔内衛生管理②：実技	歯垢・歯石の確認。歯みがき指導のステップ。
6	口腔内衛生管理③：応用	各種デンタルケア製品の特性と、症例に合わせた製品選択。
7	中間試験	中間試験
8	解説	解説
9	コミュニケーション①：基本	挨拶、身だしなみ、プロとしての傾聴スキルとノンバーバル表現。
10	コミュニケーション②：受付	電話応対と初診受付。飼い主の不安を和らげるカウンセリング実習。
11	コミュニケーション③：指導	処方食や投薬、口腔ケアの「伝え方」。動機付けのテクニック。
12	飼い主教育と適正飼養	多頭飼育崩壊の予防、災害時の同行避難、マイクロチップの意義
13	総合演習（ロールプレイ）	行政知識、口腔ケア、対人スキルを統合した模擬診察実習。
14	期末考査	期末考査
15	解説	解説

☐ 到達目標

動物愛護関連法規と適正飼養の意義を正しく理解し、説明できる。
安全な口腔衛生管理の実技と、飼い主に寄り添う指導スキルを習得する。

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト30% 期末考査70%

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	3年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		動物臨床看護学総論		金田千佳		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		実験・実習・実技		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

愛玩動物看護師として現在も臨床の最前線で経験している知識また、国家資格試験を熟知した講師が講義を実施する。

☐ 授業科目の概要

より実践的に動物看護師の職務を理解してもらう

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	動物看護業務	動物看護とマネージメント
2	動物看護業務	動物看護とマネージメント
3	動物看護過程の展開	動物看護過程の展開
4	動物看護過程の展開	動物看護過程の展開
5	動物看護過程の展開	動物看護過程の展開
6	診療記録と動物看護記録	診療記録と動物看護記録
7	中間テスト	第1回～第6回の最重要箇所での中間テスト実施
8	中間テスト解説	中間テスト解説
9	入院動物の看護	準備から受入れまで
10	入院動物の看護	食事管理
11	入院動物の看護	動物を扱う上での注意点
12	終末期における動物の看護	ターミナルケア
13	終末期における動物の看護	エンゼルケア・グリーフケア
14	期末テスト	期末考査
15	期末テスト解説	期末テスト解説

☐ 到達目標

動物の看護は指示されたことだけではなく、その1歩先を見据えた看護ができるようになる

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト＋期末考査で正答率60%以上で合格
ウェイト：中間：期末＝30%:70%で算出

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	3年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		動物臨床看護学各論Ⅳ		樽田侑		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		実験・実習・実技		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師は現在清州動物病院副院長として臨床現場の最前線で得た知識・技術と国家資格試験経験から看護師として臨床に必要な項目
また、国家試験合格のために習得必須箇所をクローズアップした授業を行う。

☐ 授業科目の概要

臨床看護学各論を教科書に沿って講義を行なう
事前配布、及びクラスルームにアップされた資料をスライド上映しつつ対面での講義を実施

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	動物看護の視点	口腔系・感覚器系
2	動物看護の視点	外皮系・循環器系
3	動物看護の視点	呼吸器系・消化器系
4	動物看護の視点	泌尿器系・内分泌系
5	動物看護の視点	生殖器系・神経系
6	動物看護の視点	運動器系・アレルギー/免疫系
7	中間テスト	第1回～第6回の最重要箇所での中間テスト実施
8		中間テスト解説
9	動物看護の視点	血液/造血管系・事例で考える動物看護の実態
10	がん動物の看護	がんとは・がんの定義・良性腫瘍と悪性腫瘍の特徴・がんを発見するために・診断的アプローチ
11	がん動物の看護	治療の選択
12	がん動物の看護	がん治療を受けている動物の看護援助
13	がん動物の看護	腫瘍随伴症候群
14	期末考査	期末考査
15	期末考査解説	期末考査振り返り

☐ 到達目標

動物看護過程の一連のプロセスを理解し実践するために、
適切な援助・支援について理解する。

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト＋期末考査で正答率60%以上で合格
ウェイト：中間：期末＝30％:70％で算出

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	3年	全専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	動物医療コミュニケーション			大海麻美	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	実験・実習・実技			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

愛玩動物看護師として20年臨床の最前線で経験している知識また、国家資格試験を熟知した講師が講義を実施する。

☐ 授業科目の概要

講義、グループワーク、ロールプレイを組み合わせる。実際の動物病院を想定したケーススタディを取り入れる。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	オリエンテーション／動物医療におけるコミュニケーションの役割	職業倫理・動物看護師の立場
2	コミュニケーションの基礎	言語・非言語コミュニケーション
3	傾聴の技術と共感	受容・共感・基本的態度
4	飼い主との信頼関係構築	ラポール形成・第一印象
5	わかりやすい説明技術	専門用語の言い換え・伝達方法
6	医療面接の基礎	問診の流れ・情報収集
7	中間考査	筆記試験（基礎知識・状況判断問題）ロールプレイ試験（基礎対応）
8	中間考査振り返り	ロールプレイ試験（基礎対応）＋中間解説（受付対応・初期対応）
9	クレーム対応とトラブル回避	不満・怒りへの対応
10	インフォームドコンセント	説明責任・同意形成
11	チーム医療におけるコミュニケーション	報告・連絡・相談
12	接遇マナーとホスピタリティ	言葉遣い・態度・身だしなみ
13	総合演習（ケーススタディ）	応用ロールプレイ・状況対応
14	期末考査	ロールプレイ試験（応用）（説明・クレーム・連携）
15	期末考査振り返り	ロールプレイ試験（応用）＋総括（振り返り・フィードバック）

☐ 到達目標

動物医療におけるコミュニケーションの重要性を説明できる。飼い主対応の基本（傾聴・共感・説明）を理解し実践できる

医療面接の基本的な流れを理解できる。チーム医療における適切な情報共有ができる

☐ 成績評価の方法・基準

中間30％ 期末70％（ロールプレイ形式）

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	3年	全専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	動物外科看護学実習Ⅲ			大海麻美	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	実験・実習・実技			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

愛玩動物看護師として20年臨床の最前線で経験している知識また、国家資格試験を熟知した講師が講義を実施する。

☐ 授業科目の概要

手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	手術関連業務	リネン類等の種類と準備について
2	手術関連業務	手術器具の種類と目的について
3	手術関連業務	縫合糸・縫合針の種類と特性について
4	手術関連業務	滅菌について
5	手術関連業務	術野の毛刈りと消毒について
6	手術関連業務	気管挿管
7	中間テスト	
8	手術関連業務	手洗い及び術衣、手袋の着用方法について
9	手術関連業務	麻酔薬・鎮痛薬
10	手術関連業務	麻酔器の仕組み、操作方法
11	手術関連業務	術中のバイタルサイン評価
12	手術関連業務	麻酔モニター操作方法、麻酔モニタリング
13	小テスト	期末考査対策テスト
14	期末考査	期末考査
15	期末考査振り返り	期末考査解説

☐ 到達目標

術後管理の基本を実施目的も踏まえ
自ら考え実際の外科的処置の際の動きをマスターする

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト＋期末考査で正答率60%以上で合格
ウェイト：中間：期末＝30%：70%で算出

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	3年	全専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		グルーミング実習Ⅱ		伊藤玲華・小室千紘		
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		実験・実習・実技		2	4×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

☐ 授業科目の概要

実習形式で授業を行う。モデル犬のシャンプー、ブロー、爪切り、クリッピングなどのベーシングからトリミング器具を使用した部分カットの習得。
また、犬体モデルを使用してトリミング(カット)の技術を学ぶ。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	実習	小型犬：ベーシング60分、爪切り・足裏バリカン30分 大型犬：ベーシング90～120分、爪切り・足裏バリカン30分
2	人形カット	人形カット 前期復習(振り返り)
3	実習	小型犬：ベーシング60分、爪切り・足裏バリカン30分 大型犬：ベーシング90～120分、爪切り・足裏バリカン30分
4	人形カット	人形カット 前期復習(振り返り)
5	実習	小型犬：ベーシング60分、爪切り・足裏バリカン30分 大型犬：ベーシング90～120分、爪切り・足裏バリカン30分
6	人形カット	人形カット（中躯～前躯）
7	実習	小型犬：ベーシング60分、爪切り・足裏バリカン30分 大型犬：ベーシング90～120分、爪切り・足裏バリカン30分
8	人形カット	人形カット（前躯～バックライン）
9	実習	ベーシングにプラスして部分カット(足回り、お尻・フロントのカット)
10	人形カット	人形カット（顔：クラウン）一周
11	実習	ベーシングにプラスして部分カット(足回り、お尻・フロントのカット)
12	人形カット	人形カット 一周(120分目標)
13	実習	ベーシングにプラスして部分カット(足回り、お尻・フロントのカット)
14	人形カット	人形カット 一周(120分目標)
15	後期考查	人形カット ラムクリップ90分

☐ 到達目標

小型犬～大型犬のグルーミング技術の習得
犬体人形を使用してブードルのカット(ラムクリップ)

☐ 成績評価の方法・基準

人形カットの完成度40％ 出席状況・授業態度60％

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	3年	xx専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	国家試験対策講座12			樽田侑		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	実験・実習・実技			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師は現在清州動物病院副院長として臨床現場の最前線で得た知識・技術と国家資格試験経験から看護師として臨床に必要な項目
また、国家試験合格のために習得必須箇所をクローズアップした授業を行う。

☐ 授業科目の概要

対面講義型授業にて、愛玩動物看護師国家試験に合格するための対策を行う。

国家試験の頻出箇所の問題演習を行い、知識の確認および定着を図る。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	問題演習	国家試験頻出問題の解説
2	問題演習	国家試験頻出問題の解説
3	問題演習	国家試験頻出問題の解説
4	問題演習	国家試験頻出問題の解説
5	問題演習	国家試験頻出問題の解説
6	問題演習	国家試験頻出問題の解説
7	問題演習	国家試験頻出問題の解説
8	問題演習	国家試験頻出問題の解説
9	問題演習	国家試験頻出問題の解説
10	問題演習	国家試験頻出問題の解説
11	問題演習	国家試験頻出問題の解説
12	問題演習	国家試験頻出問題の解説
13	問題演習	国家試験頻出問題の解説
14	問題演習	国家試験頻出問題の解説
15	期末考査	期末テスト

☐ 到達目標

国家試験頻出内容の知識の確認および習得

☐ 成績評価の方法・基準

期末テスト100%

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	3年	xx専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	国家試験対策講座13			金田千佳		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	実験・実習・実技			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

愛玩動物看護師として株式会社新日本科学では実験動物管理部、薬理研究部で経験を積み、その後動物病院でも勤務経験をもとに国家試験合格、愛玩動物看護師として必須知識を授業を介し学生へ伝えていく。

☐ 授業科目の概要

対面講義型授業にて、愛玩動物看護師国家試験に合格するための対策を行う。

国家試験の頻出箇所の問題演習を行い、知識の確認および定着を図る。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	問題演習	国家試験頻出問題の解説
2	問題演習	国家試験頻出問題の解説
3	問題演習	国家試験頻出問題の解説
4	問題演習	国家試験頻出問題の解説
5	問題演習	国家試験頻出問題の解説
6	問題演習	国家試験頻出問題の解説
7	問題演習	国家試験頻出問題の解説
8	問題演習	国家試験頻出問題の解説
9	問題演習	国家試験頻出問題の解説
10	問題演習	国家試験頻出問題の解説
11	問題演習	国家試験頻出問題の解説
12	問題演習	国家試験頻出問題の解説
13	問題演習	国家試験頻出問題の解説
14	問題演習	国家試験頻出問題の解説
15	期末考査	期末テスト

☐ 到達目標

国家試験頻出内容の知識の確認および習得

☐ 成績評価の方法・基準

期末テスト100%

2026年度	後期	愛玩動物看護学科	3年	全専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	適正飼養指導論Ⅱ		亀子美穂		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師はエンゼル動物病院看護師長であり、動物看護師歴9年以上のキャリアと愛玩動物看護師国家資格取得者の経験と実績を踏まえ、動物看護師として必要な項目と国家資格試験合格に向け高出題箇所での講義を行う。

☐ 授業科目の概要

本科目では、動物の福祉を基礎として、飼い主が動物の生涯にわたり適正に飼養できるよう支援するための知識を学ぶ。

また災害時の飼養管理や同行避難など、緊急時における動物と飼い主支援についても実践的に学ぶ。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	災害とは	災害対策基本法について
2	同行避難	同行避難の意義について
3	飼い主の備え①	愛玩動物とその飼い主の災害への備えについて
4	飼い主の備え②	愛玩動物とその飼い主の災害への備えについて
5	災害獣医療	災害獣医療チームについて
6	動物看護師の役割	災害時、平常時における愛玩動物看護師の役割について
7	中間テスト	第1回～第6回の最重要箇所での中間テスト実施
8	動物愛護管理行政	動物愛護管理行政とは
9	公衆衛生業務・動物愛護週間	公衆衛生業務における愛玩動物看護師の役割
10	適正飼養の普及啓発	動物飼養者への指導
11	犬と猫の引き取りと収容	犬や猫の引き取り収容や処分の状況
12	動物取扱業	動物取扱業と動物取扱責任者について
13	総まとめ	総復習
14	試験	
15	試験解説	

☐ 到達目標

動物の適正な飼養管理と災害時の対応について理解し、
飼い主に的確な指導・支援ができる力を養う。

☐ 成績評価の方法・基準

中間テスト30%＋期末テスト70%